



Photo Manager 2009 [フォトマネージャー]

写真の楽しさ広がる 超高速デジタル写真管理ソフト

スタートアップ ガイド



ACD Systems International 2008 All rights reserved.

賠償責任の告示

本書の情報は、商品性、権原、特定の目的・使用への適合性に対する、明示的、暗黙的保証等を含め、表明、保証等一切なしで「現状のまま」で提供されます。本書の製作には充分注意しておりますが、著者および ACD Systems は、本書に含まれている指示の使用あるいは不使用に直接的あるいは間接的に起因する、あるいは起因すると主張される損害に関し、いかなる個人あるいは団体組織に対しても一切の責任を負わないものとします。ACD Systems は、本書を予告なく改訂する権利を留保するものです。

著作権および商標

ACDSee Photo Manager Software およびドキュメンテーションは、設計・プログラムされたもので、著作権があります。Copyright (c) 1994-2008 ACD Systems International Inc. All rights reserved worldwide. 複製禁止。

ACD、ACDSee、ACDSee ロゴは、ACD Systems International Inc. またはその子会社の商標で、カナダ、米国、EU、日本、その他の国で登録されている場合があります。Adobe、Acrobat、PhotoShop、PostScript、XMP は、米国あるいはその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Apple、Macintosh、QuickTime は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。

Paint Shop Pro は、カナダ、米国、その他の国における Corel Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。

DirectX、Internet Explorer Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、Windows Vista Start ボタンは、米国あるいはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

その他のマーク、製品名、会社名は、それぞれの所有者の所有物です。

サードパーティ ソフトウェア ライセンス

本ソフトウェアには、本契約の残りの部分と共に受諾し、合意した以下の公示に従って使用される ACD のサプライヤーのソフトウェアが含まれています。

本製品は、Adobe Systems Incorporated によるライセンスに基づく DNG 技術が含まれています。詳細については、以下に示されています。 <http://www.adobe.com/products/dng/main.html>. All rights reserved.

Xalan および Xerces ライブラリは、Apache License, Version 2.0 (以下「ライセンス」) により許諾されています。このファイルは、ライセンスに沿った形以外では使用できません。ライセンスは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>から取得することができます。該当する法律により求められる場合や書面による同意の場合を除き、このライセンスにより配布されるソフトウェアは、「現状のまま」で明示的であれ暗黙的であれ、一切の保証や条件なしに提供されます。ライセンスの下での許可や制限を規定する具体的な表現については、ライセンスをご覧ください。

本ソフトウェアは、Independent JPEG Group の作品の一部に基づいています。

LibTIFF による TIFF サポート。Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler, Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc. 本公示は、ソフトウェアと関連ドキュメントのすべてのコピーに表示する必要があります。Leffler および Silicon Graphics の名称は、Sam Leffler および Silicon Graphics の特定の事前の承認なしに、ソフトウェアに関連した広告または出版物で使用することはできません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性を含めこれに限定されることなく、明示的であれ暗黙的であれ、一切の保証を行わないものとします。いかなる場合であれ、SAM LEFFLER および SILICON GRAPHICS は、本ソフトウェアの使用または性能に起因する、不使用、データ、利益の喪失の結果から生じる、特殊、付随的、間接的、結果的損害に関し、そのような損害の可能性が示唆されていたかどうかにかかわらず、一切の責任を負わないものとします。

MPEG 1 コーデックは MainConcept 2008 に著作権があります。MainConcept ロゴおよび 'Codec By' ロゴは、MainConcept AG またはその子会社の登録商標であり、MainConcept は、MainConcept AG またはその子会社の商標です。

一部に Microsoft Windows Media Technologies を使用しています。Copyright © 1999-2002 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.

CD/DVD レコーディングソフトウェアは、Padus, Inc. からのライセンスで開発されました。 <http://www.padus.com> Copyright 1996-2007 Padus, Inc. All Rights Reserved. 本ソフトウェアには、米国フロリダ州タンパ市の Pegasus Imaging Corp. が著作権を有する画像処理コードの一部が含まれています。Pegasus Imaging Corp., Tampa FL, ALL RIGHTS RESERVED.

キット デザイナー:

Year in Revue のデザイン テンプレートは、Lie Fhung によって提供されました。copyright © 2005-2007 Lie Fhung of Ztamp! ウェブサイトは次の通りです。 <http://www.zta.mpf.com>.

Days with Dad デザイン テンプレートは、Misty Cato によって提供されました。copyright © 2005-2007 Misty Cato of Misty Cato Designs ウェブサイトは次の通りです。 <http://mistycatodesigns.blogspot.com>

Brush デザインは、Genevieve Sass によって提供されました。copyright © 2007 Genevieve Sass of Sweet Genevieve Designs ウェブサイトは次の通りです。 <http://www.sweetgenevivedesigns.com>

ACD Systems Technical Writing Department 2008

目次

ACDSee 2009 へようこそ	1
このガイドについて	3
ドキュメント内で使用されている規則について	3
動作環境	4
ACDSee Photo Manager 2009 をインストールする	4
ACD Systems の連絡先	5
概要のクイックツアー	5
ヘルプ システムを使用する	7
画像のインポート	9
画像をインポートする	10
画像の移動とコピー	14
参照と表示	15
ブラウザ レイアウトを変更する	17
自動スクロール	19
画像の特定領域を拡大表示する	19
ACDSee Quick View	20
ACDSee Showroom	20
日付別に画像を表示する	20
管理と検索	23
ACDSee データベースについて	24
管理ツール	25
カテゴリを使用する	25
自動カテゴリを使用する	26
キーワードを使用する	27
カテゴリを使ってファイルを検索する	28
イーजीセレクト バーを使って検索する	29
保存済み検索を使用する	29
修整と編集	31
オリジナルの保存	32
赤目を補正する	33
シャドウとハイライトを補正する	34
枠を追加する	35
選択範囲を使って、画像の補正やアーティスティック効果を作成する	36
印刷と共有	39
ACDSee で画像を印刷する	40
コンタクトシートやカタログページを印刷する	41
スライドショーを起動する	43
保存と取得	45
CD や DVD に画像とその情報を書き込む	46
ACDSee データベースをバックアップする	47
次にすることは?	51
ヘルプ ファイルを開く	51
製品サポートとリソース	51
コミュニティ	51
ウェブサイト	51

ACDSee 2009 へようこそ

業界をリードするデジタル画像管理ソフトウェアのACDSee 2009 をお選びいただき、誠にありがとうございます。ACDSee 2009 は高速でパワフルだけでなく、使い方がとても簡単なため、デジタル画像とメディア ファイルの管理、表示、編集、共有に不可欠なツールです。

ACDSee 2009 について

ACDSee は、コンピュータに格納されている画像、フォント、ビデオその他のメディアファイルを素早く検索、管理、プレビュー表示するためのソフトウェアです。カメラ、スキャナやその他のリムーバブル デバイスから、効率的にそして簡単に画像をインポートすることができます。ACDSee のスクリーンは素早くアレンジできますので、頻繁に使うツールを使いやすい場所に配置し、時間を最大限に利用することができます。

Quick View やフル ビューアを使用すれば、数回クリックするだけで、画像やメディアファイルを高画質で表示することができます。スライドショーを表示したり、画像に埋め込まれたオーディオを再生したり、PNG や RAW を含むサポートされている 50 種類以上の画像及びマルチメディアファイルフォーマットで画像を表示したりすることができます。

ACDSee には、画像修正や編集を行うことができるエディタも含まれています。デジタル画像撮影で発生しやすい赤目やカラーキャスト、レンズのキズやシミなどを素早く修正することができます。トリミング、シャープネス、ぼかし、回転、露出やカラーの調整だけでなく、テキストや特殊効果を追加して、画像をアーティストチックに仕上げることができます。

ACDSee を使って、一度に複数の画像をまとめて調整することも可能です。複数の画像グループ、またはフォルダ全体に含まれている画像すべてに、名前の変更、サイズの変更、回転、露出の調整を一括して適用することができます。昨日ダウンロードしたばかりの画像がどこにあるかわからない?といった場合も、ACDSee なら特定の画像コレクションを検索したり、表示したいファイルだけをまとめて表示したりすることができます。

また、ACDSee を使えば画像の共有も簡単。電子メールで送信したり、ビデオファイルや VCD に変換したり、CD や DVD に書き込んだり、HTML アルバムを作成してユーザーのウェブサイトに掲載したりという操作も、難なくこなすことができます。ACDSee のパワフルな印刷ツールで、画像を印刷したり、画像コレクションのコンタクトシートを作成/印刷したりすることもできます。

ACDSee は、画像コレクションを管理するために必要とされるすべての機能を備えたソフトウェアで、数百の画像から数万といった画像とファイルの管理を容易にこなすことができます。

このガイドについて

「ACDSee 2009 スタートアップ ガイド」は、ACDSee Photo Manager 2009 の機能紹介と概要解説のために作成されています。このガイドは実際に起こりうるケースを前提に、操作と連動したチュートリアルを使って ACDSee を最大限に利用していただく方法を示しています。

このガイドは、ACDSee の数多くあるツールのすべてをカバーしているわけではありません。各機能に関する概要と手順につきましては、ACDSee のヘルプファイルをご覧ください。このガイドは、すぐに使う可能性の高いツールの使い方を示して、ACDSee に慣れ親しんでいただくことを目的としています。

ドキュメント内で使用されている規則について

この「スタートアップ ガイド」では、以下の規則を使用しています：

メニュー：

メニュー内のオプションを選択する例として、[編集] から [名前の変更] のように表記されていると仮定しましょう。これは、[編集] メニューをクリックし、[名前の変更] オプションを選択することを意味します。ACDSee のテクニカル ドキュメントはすべて、この規則に従っています。

ヒント：

「スタートアップ ガイド」には、ユーザーのワークフローを向上し、ACDSee を有効に使うためのヒントが含まれています。このようなヒントは、右手にある「ヒント」アイコンとブルー/グリーン枠で囲まれたボックス内に表示されています。画像の整理、修整、管理のベスト方法がわからないような場合には、これらのヒントを参考にしてください。



注記：

重要な情報が掲載されて、特定方法での作業をスムーズに行うため、あるいは最適な結果を得るために、メモをとるようにお勧めする場合があります。そのような情報は、右手にある「注記」アイコンとブルー/グリーン枠で囲まれたボックス内に表示されます。



警告：

操作の中には、データを失ったり、ファイルを永久的に変更したりしてしまうものがあります。そのような可能性を最小限に抑えるため、警告を表示しています。警告は、右手にある「警告」アイコンとオレンジ枠で囲まれたボックス内に表示されます。データや重要な画像を損失するなどの問題を避けるために、これらの警告に十分注意してください。



定義：

ACDSee 特有の用語や、デジタル ソフトウェア業界に関連した用語で、ユーザーには親しみのないものを解説しています。定義は、右手にある「定義」アイコンと灰褐色枠で囲まれたボックス内に表示されます。



動作環境

ACDSee Photo Manager 2009 を使用するには、ご利用になっているコンピュータに次のコンポーネントが必要です：

最低必要条件	推奨
Intel® Pentium® III / AMD Athlon プロセッサまたは同等	Intel® Pentium® 4 / AMD Athlon XP または同等以上
512 MB RAM	1 GB RAM
100 MB の空き容量のあるハードディスク	1 GB 以上の空き容量のあるハードディスク
High Color ディスプレイ アダプタ 1024x768 解像度	High Color ディスプレイ アダプタ 1280x1024 以上の解像度 CD/DVD 書き込み可能ドライブ
Windows® XP SP2	Windows® XP SP2 以降または Vista®
Microsoft® Internet Explorer® 5.0.0	Microsoft® Internet Explorer® 6.0.0 以降
Microsoft DirectX® 9.0c- Microsoft DirectX® ファイル フォーマットのサポート、スライドショー、スクリーンセーバー、VCD の作成	Microsoft DirectX® 9.0c - Microsoft DirectX® ファイル フォーマットのサポート、スライドショー、スクリーンセーバー、VCD の作成
	QuickTime 6.0 - QuickTime ファイル フォーマットのサポートに必要
	Ghostscript 8.0 - PDF ファイルのサポートに必要
	Microsoft® PowerPoint® 2003 または 2007
	Windows Media® Player 9.0 以降

ACDSee Photo Manager 2009 をインストールする

小売店より購入なさった場合は、CD-ROM から ACDSee をインストールしてください。オンラインで購入なさった場合は、ダウンロードした実行可能ファイルから ACDSee をインストールしてください。

CD-ROM から ACDSee をインストールするには：

1. ご利用になっているコンピュータの CD-ROM ドライブに CD を挿入し、ドライブのドアを開めます。自動実行が有効に設定されている場合は、新しい CD が検出されるとインストーラが自動起動されます。手順 5 にスキップしてください。
2. 自動実行が有効に設定されていない場合は、Windows の [スタート] ボタンをクリックし [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. [参照] をクリックし、ドロップダウン リストから CD-ROM ドライブを選択します。
4. setup.exe というファイルを選択してから、[開く] をクリックします。OK をクリックしてインストーラを起動します。

5. インストーラ内で、[ACDSee Photo Manager 2009 のインストール] ボタンをクリックし、ウィザードの指示に従ってください。ライセンスコードを入力するページでは、CDが包装されていたプラスチックまたはケースについてある番号と文字を、与えられたフィールドに入力してください。
6. ACDSee のインストールが完了したら、デスクトップにある [ACDSee Photo Manager 2009] アイコンをダブルクリックして、ACDSee を起動してください。

実行可能ファイルからインストールするには：

1. Windows エクスプローラを使って、インターネット経由でダウンロードした実行可能ファイルを探します。
2. 実行可能ファイルをダブルクリックして、InstallShield ウィザードを起動します。ウィザードの指示に従ってください。ランセンス番号を入力するページでは、購入確認のために送信された電子メールのメッセージを探して、そこに記載されている番号を入力してください。
3. ACDSee のインストールが完了したら、デスクトップにある [ACDSee Photo Manager 2009] アイコンをダブルクリックして、ACDSee を起動してください。

ACD Systems の連絡先

ACDSee Photo Manager 2009 をご購入いただいたお客様は、弊社のサポートチームよりサポートをお受けいただけるようになっています。テクニカルまたは製品に関するご質問、あるいは弊社にフィードバックをお寄せいただくには、下記ウェブサイトをご利用ください。

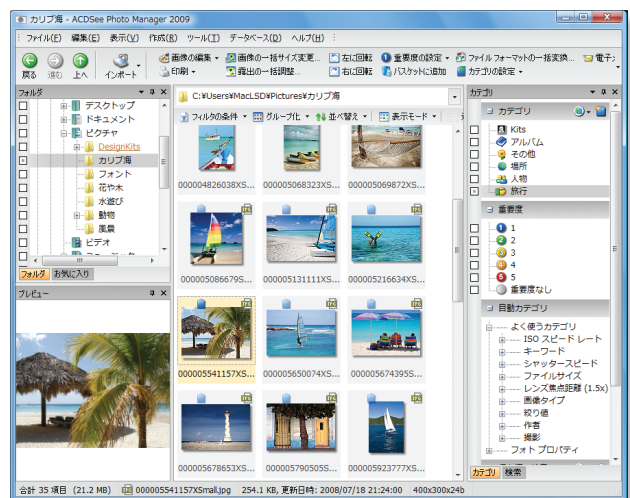
<http://ja.acdsee.com/support>

概要のクイックツアー

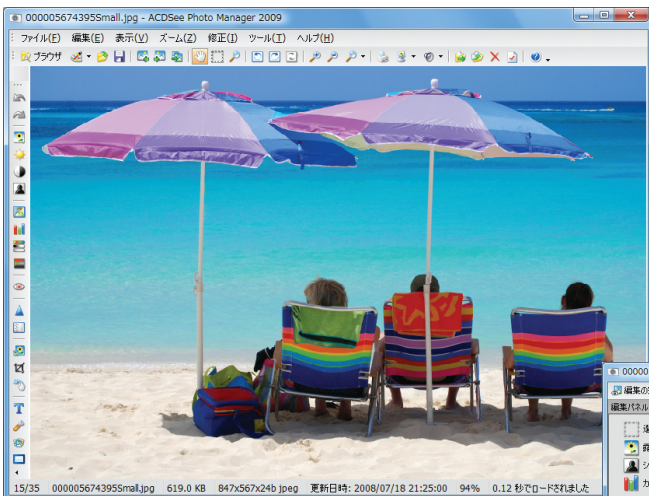
ACDSee のユーザー インターフェイスは次の 3 つの領域から構成されています：
ブラウザ、ビューア、編集モード

「ブラウザ」は並べ替え、表示、管理を行う ACDSee のメイン画面です。デスクトップのショートカットから ACDSee を起動すると、最初に表示されるのがブラウザです。初めて見る人は、Windows エクスプローラによく似ていると思われることでしょう。また、操作もよく似ています。画面の左手にある「フォルダ ペイン」からフォルダの名前をクリックすると、選択されたファイルのサムネイルが画面の中心にある「ファイル一覧」に表示されます。この中心部分には、画像の並べ替え、管理や整理に便利な数多くのペインが含まれています。また、「ブラウザ」ペインは移動したり重ねたりできる他、非表示にしたり固定しなかったり、ユーザーのワークフローにあわせて変更することができます。

「ビューア」は画像を表示したり、ビデオとオーディオ ファイルを再生したりするための領域です。アイコンが用意されていますので、「編集モード」に素早くアクセスすることができます。画像はユーザーの希望するズームで表示できます。フォルダの内



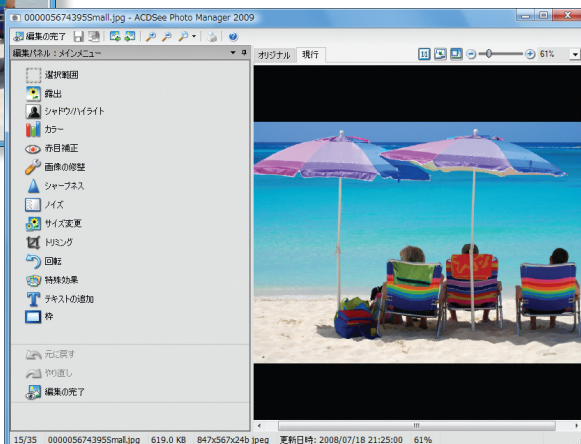
容をスキャンしたり、画像のプロパティやカラー情報を表示したりすることができます。「ビューア」を開くには、「ブラウザ」内であらゆる画像またはメディア ファイルをダブルクリックします。また、「ビューア」内でもキーワード、キャプション、作者などのデータベース情報を入力することができます。



ACDSee Quick View は ACDSee を起動せずに、より素早く画像を表示するためのビューアです。ACDSee Quick View は、Windows エクスプローラから画像をダブルクリックすると起動します。Quick View から ACDSee を開くには、[Photo Manager] をクリックしてブラウザを開くか、[フル ビューア] をクリックしてメインのビューアを開きます。

ACDSee の [編集モード] は、画像の修正や編集に必要なすべてのツールを備えています。使う必要のない時には隠したり、終了したりできる [編集パネル] から、各ツールにアクセスする

ことができます。ツールの名前をクリックすると、該当のツールがパネルに開かれます。このパネル内で設定を調整して、画像を編集します。[編集モード] で画像を開くには、「ブラウザ」または「ビューア」のツールバーにある [画像の編集] をクリックします。[編集モード] でツールを開くには、[編集パネル] のあらゆるツールをクリックします。ダイアログボックスの左手にあるメインメニュー、ブラウザ、ビューア、編集モードの詳細につきましては、「スタートアップガイド」の後のチャプタで解説しています。



ヘルプ システムを使用する

ACDSee では 2 種類のヘルプをご利用いただけます。

- メインの「ヘルプ」ファイルは、アプリケーション内のすべての機能をカバーした詳細と手順を含んでいます。
- 「状況に応じたヘルプ」は、[ヘルプ] ボタンをクリックすると特定ダイアログについての情報を表示します。

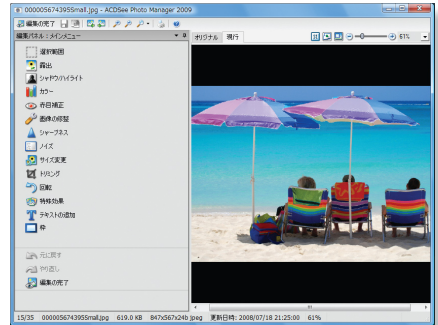
ヘルプ ファイル

メインのヘルプ ファイルを開くには、[ヘルプ] メニューから [ヘルプを開く] をクリックします。 ACDSee 2009 のヘルプ ウィンドウは、クリックして展開することができる「目次」タブ、文字や文を入力して検索することができる「検索」タブ、キーワードを入力して検索することができるキーワード「キーワード」タブの 3 つのタブから構成されています。

ほとんどのトピックには、閲覧しているトピックと似ているトピックへのリンクが含まれています。これらのリンクをクリックすると、該当トピックが表示されます。

状況に応じたヘルプ

ACDSee の状況に応じたヘルプは、ダイアログやウィザードの項目を詳しく解説しています。現在使用中のダイアログやウィザード内にある [ヘルプ] ボタンをクリックするか、<F1> キーを押すと、詳細がポップアップ表示されます。



画像のインポート

デジタルカメラから画像を取り込む作業は、ほとんどの ACDSsee ユーザーが最初に行う作業にあたるはずですが、ACDSsee では、カメラやデバイス上の画像を参照することができるため、必要な画像を別のフォルダにコピー / 貼り付けすることができます。同時に、「インポート」ダイアログを使って画像をインポートする際に、バックアップのコピー、名前の変更、自動回転、カテゴリの追加、撮影者の名前やキーワードなどのデータベース情報の追加といった作業を行うことができるため、ワークフローを大幅にスピードアップすることができます。

画像のインポート



デバイス：ACDSeeでは、デジタル画像を含んだあらゆるリムーバブルデバイスを包括して「デバイス」と呼んでいます。デバイスには、デジタルカメラ、メモリカード、カードリーダー、スキャナ、USB 大容量記憶装置、フラッシュドライブ、携帯電話、CD/DVD、コンピュータと割り当てられたディスクまたはドライブ、ネットワークが含まれます。



ACDSee デバイス検出は Windows XP の自動再生機能を置き換えます。自動再生機能を復元するには、[デバイス検出] アイコンを右クリックして [終了] を選択し、[デバイス] 検出を終了します。[デバイス検出] は、ACDSee 内からいつでも再起動することができます。

ACDSee を使用すれば、あらゆるデバイスから、画像をコンピュータにインポートする操作を簡単に行うことができます。ACDSee は、ほとんどのカメラやリムーバブル デバイス上に存在する画像を参照することができるため、カメラ、カード、フラッシュ ドライブなどから必要な画像をコピーし、ACDSee のフォルダ ペインを使ってあらゆるフォルダに貼り付けすることができます。ドラッグ & ドロップでも、この作業を完了することができます。

パワフルな [インポート] ウィンドウには、数多くのオプションが備わっています。インポート中には、次のような複数のタスクを同時に行うことができます：

- 新規フォルダまたは複数フォルダの作成と名前の入力。
- バックアップ用として、フォルダと画像の複製セットを作成。
- 名前の変更テンプレートを使用して、各ファイルの名前を変更。
- カメラの種類によっては、その情報に従ってファイルを自動回転。
- ファイルを複数のカテゴリに追加。
- 作者、注記、キーワード、EXIF や IPTC データ、著作権情報などを追加。
- RAW と JPEG の両方のファイルを扱うことのできるカメラをご利用の場合は、これらを分けて 1 セットを新しい名前の付いたサブ フォルダに格納。

これらのインポート設定を保存して後で繰り返し使用したり、異なるタスク毎に異なる設定を保存したりすることができます。

このチャプタではデジタルカメラをインポートの使用例として使っていますが、本質的にあらゆるリムーバブル デバイスで同様の作業を行うことができます。「ディスクから」オプションを使って、フォルダ構成内でカメラを参照することも可能です。

デバイス検出について

[デバイス検出] は ACDSee とは別の小さなアプリケーションで、コンピュータ起動時に同時に背景で起動されます。画像またはメディア ファイルを含んだあらゆるデバイスとコンピュータを接続、あるいは CD-ROM ドライブに画像の格納された CD を挿入すると自動検出します。[デバイス検出] は、Windows ツールバーの右下にある、タスク バーの通知領域にアイコンとして表示されます。カメラとコンピュータを接続すると、このアイコンの色が変わり、画像の取り扱い方法をたずねるウィンドウが表示されます。



ACDSee デバイス検出アイコン - 非アクティブ

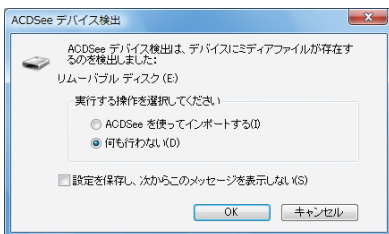


ACDSee デバイス検出アイコン - カメラと接続

画像をインポートする

[インポート] ダイアログを使って画像をインポートするには：

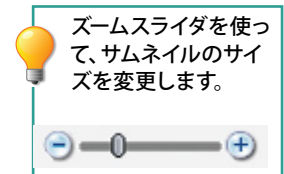
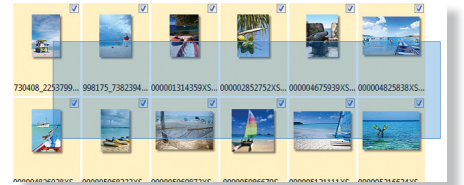
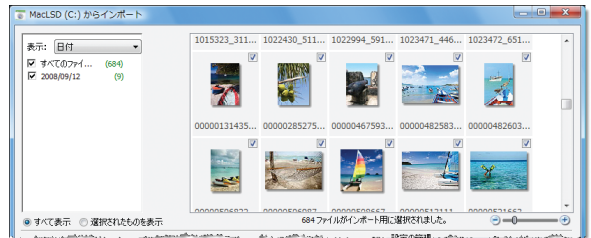
1. カメラとコンピュータを接続し、ケーブルが適切につながっているか確認します。カメラの電源を入れると、[デバイス検出] がカメラを検出し、次のいずれかを選択することができるウィンドウを表示します：



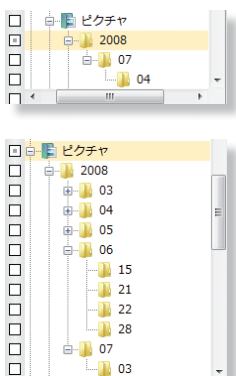
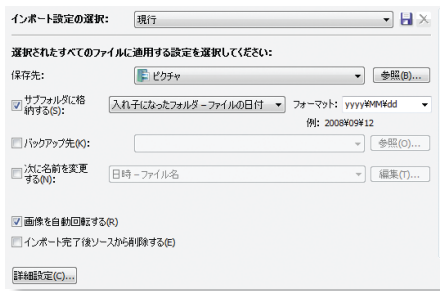
- ACDSSee でファイルをインポートする
(このオプションを選択すると、[インポート] ダイアログが表示されます。)
 - 何も行わない
2. 今回は、[何も行わない] を選択し、[OK] をクリックしてデバイス検出ウィンドウを閉じます。
 3. ACDSSee を起動し、[ファイル] メニューから [インポート]、[デバイスから] をクリックして、[インポート] ウィンドウを開きます。

インポートする画像を選択するには:

1. [インポート] ダイアログが開かれたら、[日付] または [ファイルの種類] のいずれかを選択して、画像の表示方法を指定します。
[日付] をクリックすると、[インポート] ウィンドウに、画像の撮影された日付の一覧が表示されます。
[ファイルの種類] を選択すると、JPEG、RAW、TIF など、ファイルの種類別に一覧が表示されます。
2. 特定のファイルを選択したい場合は、[表示] セクションにある [すべての日付] または [すべてのファイルの種類] チェックボックスをクリックして、すべてのファイルの選択を解除します。
3. これで左のペインにあるチェックボックスを、日付またはファイルの種類によって選択またはクリアすることができます。例えば、先週末に撮影した画像だけを表示したい場合は、該当する日付のチェックボックスだけを選択します。これで、プレビューペインにそれらの日付に撮影された画像のみが表示されます。
4. また、プレビューペインでは 1 画像だけ、または複数のグループをまとめてインポート用を選択することも可能です。各サムネイルの右上にある小さな四角をクリックして、チェックボックスを選択あるいはクリアします。
5. プレビューペインで画像をまとめて選択するには、空白部分にカーソルを置き、画像上をドラッグしてハイライト表示してから、ハイライト表示された任意の画像にある四角形をクリックします。
この方法では、ハイライト表示されたすべての画像が選択されることになります。
6. 選択された画像のみを表示するには、[選択されたものを表示] ラジオボタンをクリックします。



インポート設定を選択するには：



1. まず、画像の保存先となる場所を選択します。既定として、[ピクチャ] または [マイ ピクチャ] フォルダが設定されています。既定以外の場所を選択するには、[参照] ボタンをクリックします。
2. サブフォルダに保存したい場合は (推奨)、[サブフォルダに格納する] チェックボックスを選択し、次のいずれかのオプションを選択します：

- 名前順のシングルフォルダ - すべての画像が1つのフォルダにインポートされ、[名前] フィールドに入力された名前がフォルダ名として付けられます。
- シングル フォルダ - 今日の日付 - すべての画像が今日の日付のついた 1 つのフォルダにインポートされます。
- 入れ子になったフォルダ - 今日の日付 - 選択されたフォーマットと今日の日付を基準とした、入れ子になったフォルダにインポートされます。

例えば、yyyy\mm\dd フォーマットが選択され、画像を2008年7月4日にインポートする場合、ACDSee は「2008」という名前のフォルダを作成し、その中に「07」というサブフォルダ、そして「07」のフォルダ内に「04」というサブフォルダを作成し、「04」フォルダにすべての画像をインポートします。

- 入れ子になったフォルダ - ファイルの日付 - 選択されたフォーマットと画像の撮影日を基準とした、入れ子になったフォルダにインポートされます。

例えば、yyyy\mm\dd フォーマットが選択され、かなりの月と日にまたがった画像をまとめてインポートする場合、ACDSee は各月と日のフォルダを作成し、その中に同じ日付の画像をまとめてインポートします。その結果、撮影日の同じ画像が 1 つのフォルダにまとめられます。

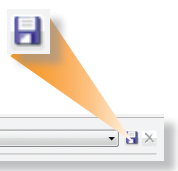
- フォルダ名の保存 - [ディスクから] オプションを使って、複雑なフォルダ構造を保ちながら画像をインポートする場合に、このオプションを選択します。ACDSee はディスク上と同一のフォルダ構造をコピーし、それらのフォルダに画像を格納します。

3. [サブフォルダに格納する] のオプションを選択していない場合は、[バックアップ先] チェックボックスを選択し、[参照] をクリックして、バックアップフォルダを参照または作成します。[サブフォルダに格納する] のオプションを選択している場合は、ACDSee がサブフォルダの選択肢と同一の複製を作成しますので、実際のフォルダと同一のバックアップが作成されることとなります。そのため、画像を検索しやすくなります。

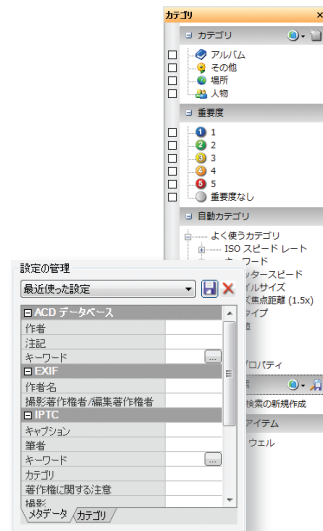
4. インポート中に画像の名前を変更したい場合は、[次に名前を変更する] チェックボックスを選択します。ドロップダウン リストから既定のフォーマットのいずれかを選択するか、[編集] ボタンをクリックしてユーザー定義のフォーマットを作成します。フォーマットのサンプルが表示されますので、名前の変更が適切か確認します。

5. また、インポート中に画像を自動回転する、インポート完了後カメラから画像を削除するかを選択することができます。

- [画像を自動回転する] チェックボックスを選択します。



- [インポート完了後ソースから削除する] チェックボックスを選択します。
6. インポート設定のオプションを選択したら、それらの設定を保存することができます。これで次回以降、カメラからインポートする際の時間を短縮することになります。オプション設定を保存すると、次回以降は保存済みの設定から選択し、画像をインポートするだけです。
- [保存] アイコンをクリックし、設定の名前を入力してから [保存] ボタンをクリックします。

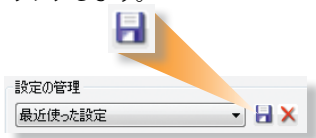


インポートしながら整理する

インポートする画像を選択し、インポートオプションを選択したら、インポート後の画像検索が簡単になるように追加情報を加えます。[カメラからインポート] ウィンドウには、カテゴリやメタデータといった ACDSee 内でも使用可能な管理設定が含まれています。インポートしながら画像を整理と後で編集する必要がなくなるため、時間を大幅に短縮することができます。

設定を選択するには：

1. [メタデータ] タブで、撮影者や場所、キーワードなど画像に関する情報を入力します。キーワード一覧にキーワードを追加する方法につきましては、「キーワードを使用する」セクションをご覧ください。
2. [カテゴリ] タブをクリックして、画像にカテゴリを追加します。カテゴリは、似たような内容の画像をシングルクリックで見つめるために使用します。
3. 設定のオプションを選択したら、それらの設定を保存することができます。これで次回以降、カメラからインポートする際の時間を短縮することになります。オプション設定を保存すると、次回以降は保存済みの設定から選択し、画像をインポートするだけです。
 - [保存] アイコンをクリックし、設定の名前を入力してから [保存] ボタンをクリックします。



ACDSee に新規カテゴリを追加すると、次回以降 [カメラからインポート] ウィンドウを使用してインポートする際、そのカテゴリが表示されます。新規カテゴリを追加する方法につきましては、「カテゴリを使用する」セクションをご覧ください。

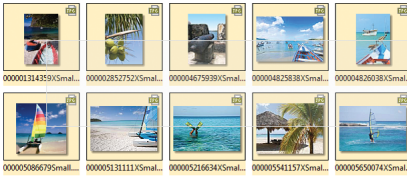
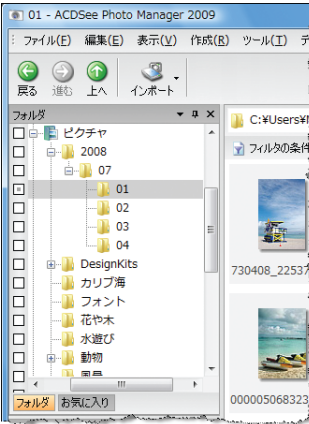
4. 準備が完了したら、[インポート] をクリックします。
ACDSee が画像をインポートしていることを示す進行状況ウィンドウが表示されます。
5. [インポートが完了しました] ダイアログが登場したら、[はい] をクリックして、画像をブラウザで表示します。

画像の移動とコピー

ACDSee のフォルダ ペインを使用して、カメラから画像をコピー/貼り付けすることができるほか、あるフォルダから別のフォルダにドラッグ & ドロップして、画像を直接移動することもできます。

フォルダ ペインを使用して画像をコピー/貼り付けするには：

1. カメラとコンピュータを接続し、カメラの電源を入れます。[フォルダ] ペインを使って、フォルダツリーにあるカメラまたはフォルダをナビゲートします。
2. カメラまたはフォルダ名をクリックするか、左手にあるイーゼーセレクト ボックスをクリックしてファイル一覧に画像を表示します。
3. 複数のフォルダから画像をコピーしたい場合は、フォルダ横にあるイーゼーセレクト ボックスをクリックします。それらのフォルダに格納されている画像が、ファイル一覧に追加されます。
4. 次のいずれかの方法で画像を選択します：
 - ・ ファイル一覧の任意の場所をクリックし、<Ctrl> + <A> を押して現在ファイル一覧に表示されているすべての画像を選択します。
 - ・ 選択したい画像上でマウスを使ってボックスの形にドラッグします。
 - ・ <Ctrl> + クリックで画像を個々に選択します。
 - ・ 選択したい最初の画像をクリックし、選択したい最後の画像までスクロールしてから、<Shift> + クリックします。最初と最後の画像内にあるすべての画像が選択されます。
5. 画像の選択が完了したら、次のいずれかを行うことができます：
 - ・ [編集] メニューから [コピー] (または <Ctrl> + <C>) をクリックしてクリップボードにコピーし、[編集] メニューから [貼り付け] (または <Ctrl> + <V>) をクリックして新しいフォルダに貼り付けます。
 - ・ フォルダ ペインの保存先フォルダ名の上に画像をドラッグし、マウスを放します。



! ACDSee データベースの情報は、ACDSee によって作成、保存、使用されます。そのため、Windows エクスプローラなど、その他のプログラムを使用してコピー、移動、名前の変更を行うと、ACDSee はこれらの変更を追跡することができないため、データベースの情報が破損する結果になってしまいます。データを失ってしまう可能性がありますので、画像やメディアファイルを移動、コピー、名前を変更する際、必ず ACDSee 内で作業するようにしてください。

Microsoft Windows エクスプローラを使用して、カメラから ACDSee に画像をドラッグ & ドロップすることができます。両方のウィンドウを開いた状態で、Windows エクスプローラから画像を選択し、ACDSee にドラッグするだけで完了します。この方法は、カメラからはじめて画像をインポートする際、あるいは ACDSee からデータベース情報をキープする必要がない場合にご利用いただけます。

参照と表示

[ブラウザ] では画像とファイルがサムネイルの一覧として表示され、サイズ変更、カスタマイズ、グループ化などユーザーの希望する方法で並べ替えることができます。[ビューア] では画像やメディアファイルを実際の大きさ、あるいは希望する倍率で表示することができます。ACDSee Quick View または ACDSee Showroom でファイルをインスタント表示することも可能です。

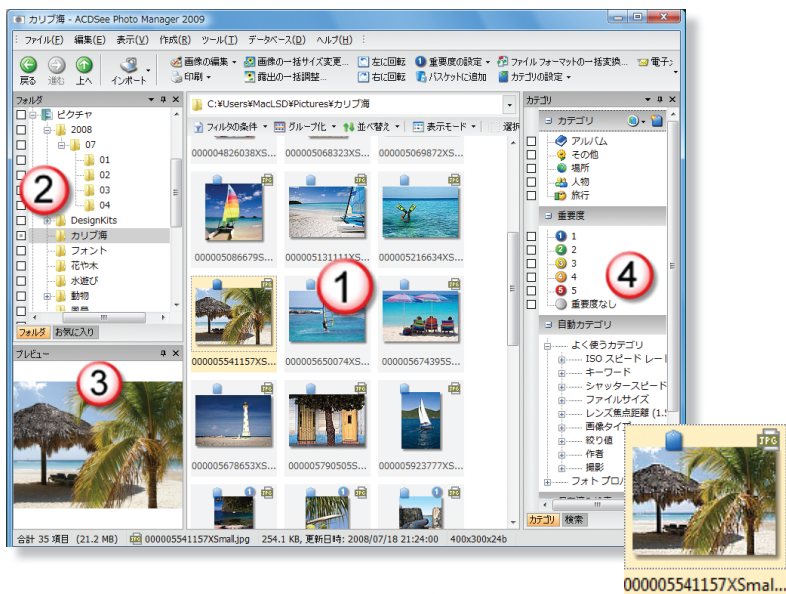
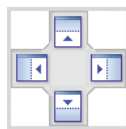
参照する

- 1 [ブラウザ] の中央に位置しているのが、[ファイル一覧] です。通常、現在選択されているフォルダ内の画像がサムネイルとして表示されますが、場合によっては検索結果、重要度の付いた画像、フォント、ファイル名のテキストなどの一覧が表示されます。

各サムネイルの下にはファイル名と、右上にはファイルフォーマットまたは画像の種類を示す小さいアイコンが表示されます。重要度が適用されている場合は、ファイルフォーマットの横に重要度のアイコンが表示されます。カテゴリに追加されている場合は、ブルーのタグが表示されます。現在選択されているフォルダ内にフォルダが存在する場合、そのフォルダに含まれている画像のサムネイルを幾つか表示したフォルダを見つけることができます。



ドッキング コンパス：
[ブラウザ] でペインを移動する際、ペインの正確な位置を把握するのに役立ちます。ドッキング コンパスには内外の矢印が含まれており、いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーカーキーがペインの移動先となる場所を表示します。コンパスの中心をマウスのポインタでホールドすると、ペインが他のペイン上に重なります。



重なっているペインの1つを移動するには、タブを新しい場所にクリック & ドラッグします。重なっているペインすべてを移動するには、最前面のペインのタイトルバーを新しい場所にクリック & ドラッグします。

移動したペインを以前の場所に戻すには、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

重なっている順番を変更するには、タブを右または左にドラッグします。

- 2 [ブラウザ] の左上にあるのが [フォルダ] ペインで、ご利用になっているコンピュータのフォルダ構造、CD/DVD ドライブ、カメラ、リムーバブル ドライブが表示されます。フォルダ ペインにあるフォルダまたはドライブ名をクリックすると、その内容がファイル一覧に表示されます。
- 3 [フォルダ] ペインのすぐ下に重なっているのが、[カレンダー] と [お気に入り] ペインです。これらのタブは、[フォルダ] タブのすぐ横で見つけることができます。タブをクリックすると、そのペインが前面に表示されます。
- 4 スクリーンの右手にあるのが [カテゴリ] ペインで、画像に重要度を適用したり、カテゴリや自動カテゴリにアレンジしたりするパワフルなツールを備えています。

スクリーンの最下部にあるのが [ステータス バー] で、選択されているファイルやカーソルの置かれている場所によって、表示される情報が変化します。

ブラウザ レイアウトを変更する

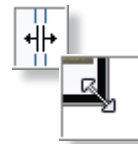
ブラウザ レイアウトは、最も人気のあるツールと機能を、ユーザーフレンドリに表示していますが、ACDSee には他にもとても便利なペインがたくさんありますので、特定のペインを表示し、あまり使用しないペインを隠すなど、ユーザーの好みに合わせてレイアウトをアレンジすることができます。ご利用いただけるすべてのペインは、メニューバーの [表示] メニューからアクセスすることができます。

ブラウザのカスタマイズはとても簡単です。ファイル一覧のまわりで、ブラウザのサイズ変更、ドラッグ、フロート、重ねて表示、またはアレンジを素早く行うことができます。

既定のブラウザ レイアウトに戻りたい場合は、[表示] メニューから [レイアウトのリセット] をクリックします。

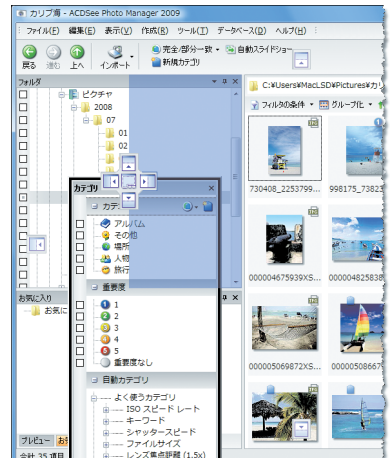
ペインのサイズを変更するには：

1. あらゆるペインのボーダー上にカーソルを移動し、ポインタが双方方向に変わるまで待ちます。
2. ペインのエッジをクリック & ドラッグしてサイズを変更します。(ペインがフロートしている場合は、ペインの端でドラッグすることもできます。)



カテゴリ ペインを移動するには：

1. カテゴリ ペインのタイトルバーをドラッグし、ドッキング コンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。マウスをリリースすると、実行可能なペインの場所が影付きで表示されます
2. フォルダ、カレンダー、お気に入り ペインの上にカテゴリ ペインを重ねるには、ドッキング コンパスの中央にマウスを置き、マウスをリリースします。カテゴリ ペインが、他のペインの最前面に表示されたのが確認できます。(カテゴリ ペインのタイトルバーをダブルクリックすると、元の場所に素早く戻ることができます。)



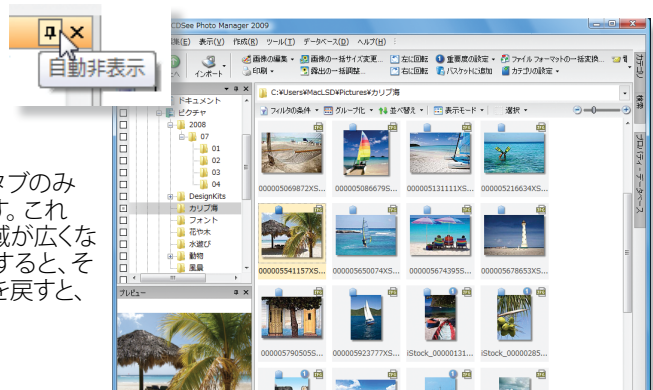
ペインを開く/自動的に隠すには：

1. プロパティ ペインを開くには、[表示] メニューから [プロパティ] をクリックします。

プロパティ ペインが、ブラウザの右手、カテゴリ ペインと重なって表示されます。

2. プロパティ ペインとカテゴリ ペインをまとめて隠すには、プロパティ ペインの右上部にある [自動的に隠す] ボタンをクリックします。

ブラウザの右手に 2 つのペインが隠され、タブのみが表示されるようになったのが確認できます。これで、サムネイルを表示するファイル一覧の領域が広くなりました。ペインのタブ上にカーソルを移動すると、そのペインが表示され、ファイル一覧にマウスを戻すと、そのペインが自動的に隠されます。



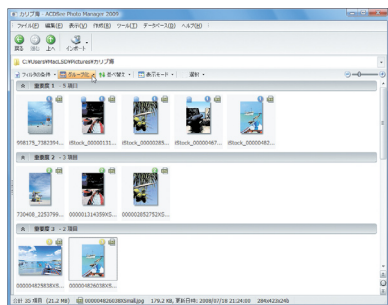
ユーザーのニーズに合ったファイル一覧

ファイル一覧ツールバー

ファイル一覧の上部にあるツールバーには、サムネイルのサイズを素早く変更することができるスライダが備わっており、ここでフィルタの条件、グループ化、並べ替え、ファイル選択を行います。表示モードオプションでは、ファイルの表示方法をフィルム ストリップ、タイトル、アイコン、詳細に変更することができます。

フィルタの条件

[フィルタの条件] ボタンをクリックすると、表示したいファイルの種類を選択することができます。それ以外のファイルの種類は表示されません。フォルダ ペインとカテゴリ ペインにあるイーゼーセレクト バーを使って、特定のカテゴリ、自動カテゴリ、重要度またはそれらの組み合わせで表示したい画像を限定することも可能です。イーゼーセレクト バーにつきましては、「管理と検索」チャプタで詳しく解説しています。



グループ化

ファイル一覧に画像がたくさんあるほど、グループ化すると便利です。グループ化するには、[グループ化] をクリックし、ファイル名、キーワード、画像サイズなど 12 のプリセット グループから希望するものを選択します。画像のグループ化が完了したら、昇順、降順などの順序を変更したり、目次を含んだりすることができます。

並べ替え

ファイル一覧で画像を並べ替えるということは、表示されるファイルの順序を変更することと同じです。最も頻繁に使用される方法は「ファイル名」ですが、ファイルサイズ、ファイルの種類やファイル プロパティなどで並べ替えることができます。ファイル一覧内でファイルをドラッグ & ドロップして、並べ替えることも可能です。

表示する

ファイル一覧にある画像またはメディアファイルをダブルクリックすると、ACDSee ビューアにフル サイズで表示されます。

ビューアには、実際のサイズに最も近い倍率で画像が表示されます。スクリーンサイズよりも画像が大きい場合は、画像全体が表示されるように自動縮小されます。

ブラウザ同様、ズームや選択オプションなど、頻繁に使用されるツールへのショートカットを含んだツールバーがビューアにも備わっています。

ビューアの左手には、ACDSee の編集ツールへのショートカットを示したツールバーがあります。これらのツールにつきましては、「修整と編集」チャプタで詳しく解説しています。

ビューアでは、ファイル一覧で並べ替えられている順番通りに画像やメディア ファイルをスクロールすることができます。ホイールマウスを使用している場合、スクロール ホイールをワンクリックで前後に動かすと、最も素早くスクロールすることができます。また、別のショートカットとして、キーボードの <Page Down> または <Page UP> キーを使うこともできます。

ブラウザに戻るには、ビューア内で画像をダブルクリックするか、ツールバーの [ブラウザ] ボタンをクリックします。



スクリーンより画像のサイズが大きくても、実際のサイズで常に表示するように設定することができます。

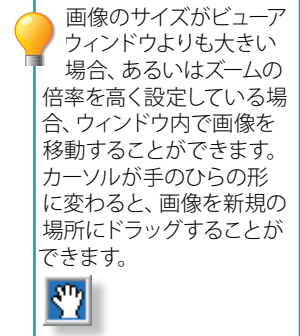
そのようにズームレベルを設定するには、[ズーム] メニューから [倍率指定] をクリックします。[倍率指定] ダイアログが開かれたら、倍率コントロールを 100% に設定します。[このズーム レベルで固定する] チェックボックスを選択し、[OK] をクリックします。

自動スクロール

フルサイズで画像を素早く表示したい場合、ショートカットキーを使ってインスタントスライドショーを作成すると便利です。

インスタントスライドショーを作成するには：

1. ビューア内で、画像をフルスクリーンで表示するように設定します。
2. <Pause/Break> キーを押して、フォルダ内の画像を自動スクロールします。マウスホイールを使ってスクロールすることもできます。
3. <Pause/Break> キーを再度押して、自動スクロールを停止します。
4. <F> キーを押して通常のビューアに戻るか、<Esc> キーを押してブラウザに戻ります。

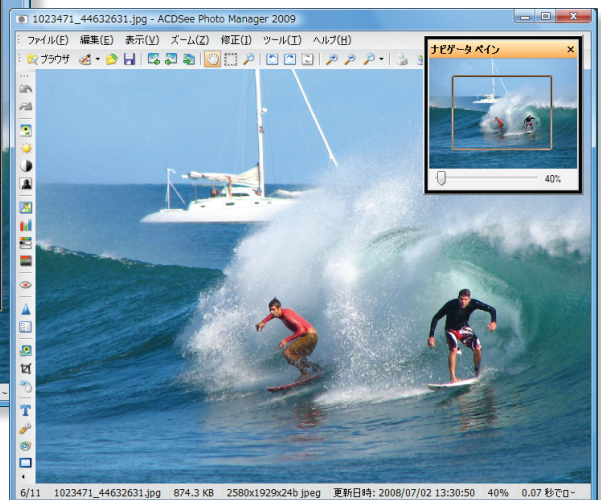
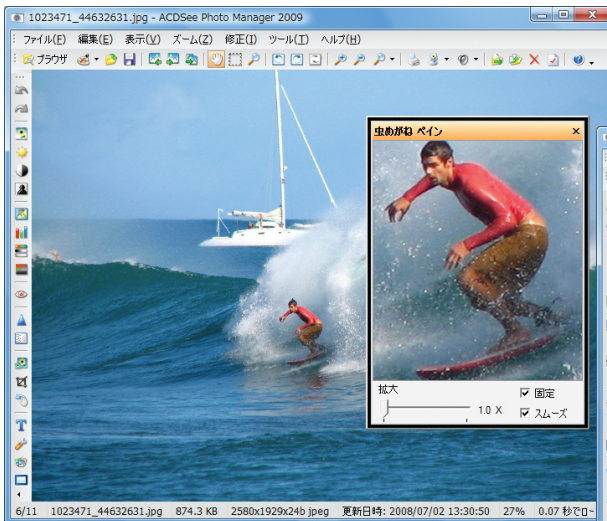


画像の特定領域を拡大表示する

ビューア内の2つのツールを使って、どの部分を拡大表示しているか理解しながら、特定領域を詳しく表示することができます。

[虫めがね] は、その名前が示すように動作します。[表示] メニューから [虫めがね ペイン] をクリックすると、画像の領域を拡大表示した小さなウィンドウが開かれます。このウィンドウはサイズ変更が可能で、虫めがねを実際に持って動かしているかのように、移動するにつれ拡大表示される領域が変わります。

[ナビゲータ] は全くその逆で、拡大表示すると、画像のどの部分を表示しているのかわからなくなりがちです。[表示] メニューから [ナビゲータ ペイン] をクリックすると、ビューアで表示されている領域を表す小さなウィンドウが開かれ、画像全体を見ることができます。このウィンドウもサイズ変更が可能です。



ACDSee Quick View

Windows エクスプローラ内、あるいは電子メールに添付されている画像をダブルクリックすると、その画像が素早く小さいバージョンのビューアに開かれます。ACDSee が開かれることはありません。これは Quick View と呼ばれるビューアのライトバージョンで、表示に必要なショートカットキーのほとんどを備えています。Quick View が起動したら、[フルビューア] をクリックして ACDSee ビューアを開いたり、[Photo Manager] アイコンをクリックしてブラウザを開いたりすることができます。



ACDSee Showroom

ACDSee Showroom は、仕事をしながら、デスクトップに小さなスライドショーとして画像を表示することができるウィジェットです。ACDSee を開かずに、一度に最大 16 のスライドショーを起動することができます。

ACDSee Showroom でデスクトップ スライドショーを作成するには：

1. ACDSee 内で、デスクトップ スライドショーに追加したい画像を含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. 次のいずれかを実行します：
 - [作成] メニューから [ACDSee Showroom の作成] をクリックします。
 - [スタート] から、[プログラム] そして [ACD Systems] [ACDSee Showroom] をクリックします。

即時にスライドショーが開始されます。

日付別に画像を表示する

[フォト カレンダー] を使用して、月別、日別に画像を参照することができます。他の表示オプションとして、[イベント]、[年]、[月]、[日] モードをご用意しています。[フォト カレンダー] は、各月の日別にサムネイルを表示します。カレンダーの右上に、該当月に含まれる画像の合計数が表示されます。

カレンダーを開くには：

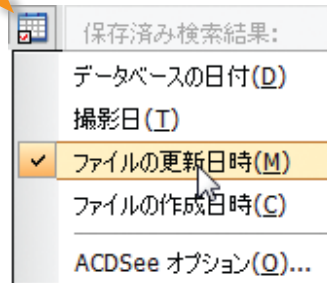
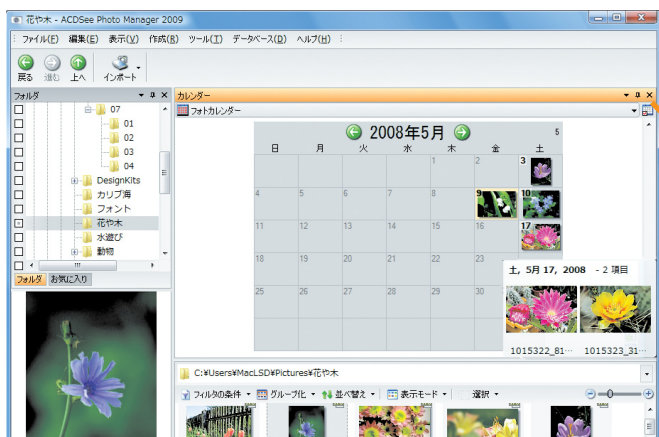
1. メニューバーで [表示] メニューから [カレンダー] をクリックします。

[フォト カレンダー] は、一列にサムネイルを並べた形でファイル一覧ペインの上に開かれます。特定日に撮影された画像がない場合は、空白で表示されます。
2. サムネイル上の 1 つにマウスを置くと、その日付に該当する最初の 4 画像が表示されます。
3. [フォト カレンダー] の様々な領域を使って、ファイル一覧の画像を表示します。次のいずれかを実行します：
 - グリーンの矢印内にある月の名前をクリックして、その月に含まれるすべての画像をファイル一覧(ウィンドウ下部)に表示します。
 - サムネイルをクリックし、その特定日に含まれるすべての画像を表示します。
 - 列のすべての日をドラッグして、一週間に渡るすべての画像を表示します。



カレンダー ペインに表示される画像は、その画像を含んでいるフォルダを参照したことがあるか、[ファイルのカタログ化] ウィザードを使用してカタログ化して ACDSee データベースに含まれていなければ、適切に表示されません。

- 月または火のように、曜日の名前をクリックし、その月の特定曜日に含まれるすべての画像を表示します。
- 4. カレンダー ペインのタイトルバーをドラッグしてフロートしたり、別のモニターにドラッグしたりします。フロートしているペインの端をドラッグしてサイズ変更すると、サムネイルのサイズが大きくなったり小さくなったり変わります。
- 5. 日モード、月モード、年モード、イベントモードに変更するには、ペイン上部にあるドロップダウン リストの矢印をクリックして希望するものを選択します。
- 6. ペインの右上部のアイコンをクリックして、画像表示に使用される日付の種類を変更したり、カレンダー ペインのオプションを変更したりすることができます。

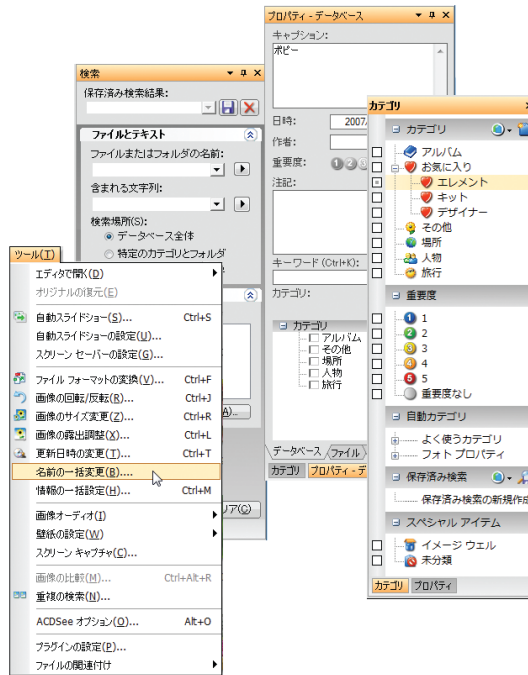


管理と検索

ACDSee のパワフルなデータベースと、その管理および検索ツールを使えば、数千のファイルの管理や特定画像の検索が簡単に。作者、キーワード、カテゴリのように ACDSee データベースにより多くの情報を追加するほど、参照、表示、検索のオプションが広がります。

整理する

写真や画像を参照、表示する機能に加え、ACDSeeの統合ツールを使って増え続けるコレクションを整理、管理することができます。これらのツールには、複数のファイルをまとめて作業することができる一括処理ツール、カタログ化と重要度の適用、重要な画像情報をストアするパワフルなデータベースが含まれています。



ACDSee データベースの情報は、ACDSee によって作成、保存、使用されます。コピー、移動、名前の変更などの操作を Windows Explorer など他のプログラムで行った場合、ACDSee はそれらの変更を追跡することができないため、データベースへの接続が壊れることになります。これは、キーワードやカテゴリなど、今まで追加してきたデータを失ってしまうことを意味します。

データの損失を失わないために、画像やメディアファイルを移動、コピー、名前を変更する際、必ず ACDSee 内で作業するようにしてください。

ACDSee データベースについて

ACDSee データベースは、ご利用になっているコンピュータのハードドライブに ACDSee が作成および保存するいくつかのファイルから構成されています。これらのファイルには、ACDSee がアレンジ、保存したキーワード、カテゴリ、重要度、日付や作者といった写真、画像、メディア ファイルに関する情報が含まれています。ACDSee は画像のサムネイル プレビューも保存しますので、フォルダやファイルの参照スピードがアップします。

ブラウズされたファイル情報やサムネイルは、データベースに自動追加されます。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。ACDSee を初めて起動すると、「マイ ピクチャ」フォルダ内の内容が自動的にカタログ化されます。

データベースが存在するため、管理と検索がより簡単になります。データベースの検索は、フォルダ間やファイル名の検索よりも正確です。データベースに追加する情報が多いほど、画像コレクションの管理が簡単になります。

データベース内の情報は、その他の ACDSee ユーザーと共有したり、以前の ACDSee バージョンから変換したりすることができます。

管理ツール

ACDSeeには画像コレクションを管理、コントロールするためのさまざまなツールが備わっています。各ツールはグループ化、整理、検索するための方法が異なります。ファイル構造の使用を制限するツールはありませんが、ユーザーの使用感にあわせてファイルの名前を変更したり、整理したりすることができます。

最も人気があって、使用されているツールはカテゴリとキーワードです。これらのツールを使用して、似ているテーマや特定内容の画像グループを素早く検索することができます。

カテゴリを使用する

カテゴリは、画像のコピーを作成したり、別のフォルダに移動することなく、画像を整理したりグループ化したりできる便利なツールです。カテゴリを使用すれば、似たような内容の画像をシングルクリックで見つけることができます。画像には、複数のカテゴリを適用することができます。

カテゴリはユーザーの好みに合わせてアレンジするものですが、スタートに役立ついくつかの活用方法をご紹介します：


- 最上位のカテゴリに、家族、旅行、仕事、学校などをテーマにしたカテゴリを作成します。その下に、サブカテゴリを作成していきます。例えば、「家族」の中に、「両親」「子供」「従姉妹」「祖父母」、あるいは実際の名前を使ったサブフォルダを作成します。家族の集合写真は、「イベント」「家族」「お正月」など、複数のカテゴリやサブカテゴリに適していると考えられます。フォルダの構造とは異なり、画像のコピーを作成する必要はありませんので、複数のカテゴリに適用することができます。適用が終わったら、いずれかのカテゴリをクリックすれば探している画像を見つけることができます。
- カテゴリを使用してユーザー独自のワークフローを作り、印刷準備の完了した画像、編集が必要な画像のように画像を識別します。カテゴリを使用して、どのような編集が必要かを明らかにすることも可能です。例えば、「編集」というカテゴリの下に、「露出」「カラーキャスト」「シャープネス」などのサブフォルダを作成します。これで、特定の修正が必要な画像をいずれかのカテゴリに適用して区別することができます。編集が完了したら、カテゴリからその画像を削除するだけです。
- デジタルスクラップブックの愛好家は、何百人というデザイナーが作成したキット画像、今まで集めてきたフォントや画像、また独自のデザイン画像など、何千という画像を扱います。ACDSeeは、複雑なマルチレベルの検索を行うのに優れています。キットはデザイナーの名前、カラー、件名などでグループ分けすることができます。キット内の画像は、カラー、スタイル、形、デザイナー、キットなどのカテゴリを適用することができます。これで、特定デザイナーの作成した青いリボンの画像すべてを表示、といった複雑な検索が可能になります。

カテゴリとサブカテゴリを作成するには：

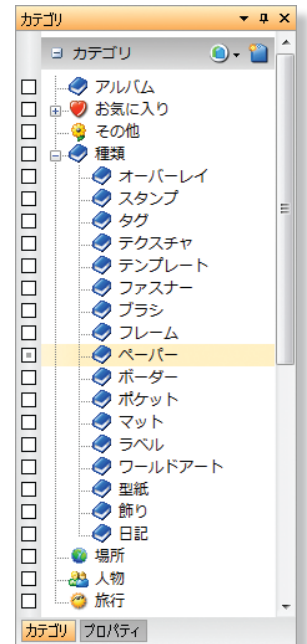
1. ブラウザで、[カテゴリ] ペインの上部にある [新規カテゴリ] ボタンをクリックします。

[カテゴリの作成] ウィンドウで、[トップ階層に新規カテゴリを作成する] を選択し、名前のフィールドに新規カテゴリ用の名前を入力します。

2. アイコン ドロップダウン リストより、新規カテゴリ（およびそのサブカテゴリ）に使用するアイコンを選択します。



メタデータ:
「メタデータ」は特定の画像またはファイルとリンクされたあらゆる情報を意味します。メタデータにはACDSee データベース内の情報、EXIF や IPTC 情報、名前やサイズ、ハードディスク上の場所といった一般的な情報が含まれます。ACDSee のツールを使って、キャプション、キーワードなど、メタデータを挿入することができます。





カテゴリの配置を変更するには、変更したいカテゴリを新しい場所にドラッグ & ドロップするだけで完了します。アイコンの異なるカテゴリ先にドラッグする場合には、ドラッグ先のアイコンに自動変更されます。



同様の方法で画像に重要度を適用すれば、ベストの画像だけを瞬時に探すことができます。

3. [OK] をクリックして新しいカテゴリを作成し、[カテゴリ] ペインに追加します。
4. カテゴリの下にサブカテゴリを作成するには、新しく作成されたカテゴリをリストから選択し、[新規カテゴリ] ボタンをクリックします。カテゴリがクリックされたため、ACDSee はユーザーがサブカテゴリを作成しようとしていると解釈します。そのため、[選択したカテゴリにサブカテゴリを作成する] がアクティブになります。
5. 新規のサブカテゴリを入力し、[OK] をクリックします。

画像をカテゴリに適用するには：

1. ファイル一覧から、画像をクリック & ドラッグして、[カテゴリ] ペインのカテゴリにドロップします。

ファイル一覧から複数の画像をドラッグすることで、カテゴリにまとめて適用することができます。また複数の画像を複数のカテゴリに適用することも可能です。

複数の画像を選択し、右クリックして [カテゴリの設定] を選択し、適用したいカテゴリをクリックする方法もあります。

画像をカテゴリから解除するには：

1. ファイル一覧から、削除したい画像を選択し、画像上を右クリックします。
2. ショートカット メニューから [カテゴリの設定] を選択し、[すべての選択項目のカテゴリ解除] をクリックします。

自動カテゴリを使用する

数千という大量の画像や写真を複数の人間が扱い、それらの写真を複数のカメラで撮影するような場合、「自動カテゴリ」を使うと大変便利です。自動カテゴリは [カテゴリ] ペインの [重要度] のすぐ下に表示されます。各カテゴリの前にある [+] または [-] をクリックして展開または非表示にします。カメラのモデル番号など、カメラによって自動的に追加される情報もありますが、[プロパティ] ペインで追加されたあらゆるデータベースを [自動カテゴリ] に追加することもできます。例えば、異なる撮影者によって作成された写真がある場合には、[作者] を追加することで、作者別にすべての画像を表示することができます。

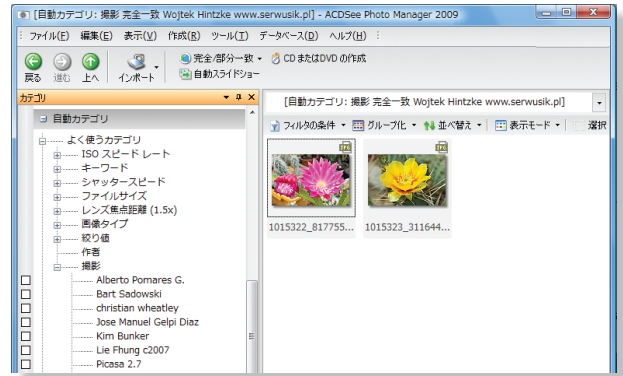
作者情報を追加するには：

1. ファイル一覧から、特定者が撮影した画像や写真をすべて表示します。
2. すべての画像を選択し、[表示] メニューから [プロパティ] をクリックして [プロパティ] ペインを開きます。
3. [データベース] タブをクリックし、[作者] フィールドに撮影者または編集者の名前を入力します。入力は自動的に保存されます。
4. この操作を、すべての画像に繰り返して行います。

[情報の一括設定] ツールを使って、複数のファイルに作者情報を追加する方法につきましては、ACDSee 2009 ヘルプファイル内の [複数のファイルにデータベースと EXIF 情報を追加する] の項をご覧ください。

5. [自動カテゴリ]にある[作者]を開くと、リストに入力されたすべての作者名が表示されます。

作者名をクリックすると、その作者と関連付けられている画像がすべてファイル一覧に表示されます。カテゴリとこの情報を組み合わせて、カテゴリと作者別に画像を検索することができます。



キーワードを使用する

キーワードを適用すると、どこで撮影されたか、写真に誰が含まれているか、撮影されたイベントは何だったのかはもちろん、単語や文を入力することで、たくさんのコレクションから画像を識別しやすくなります。

そして、特定のキーワードで検索すると、特定の機能や内容の画像すべてを素早く検索することができます。

キーワードを入力すると、[自動カテゴリ]の[キーワード]に自動追加されます。そのため、特定のキーワードをクリックするだけで、そのキーワードと関連付けられているすべての画像を探することができます。作者やカテゴリを追加している場合、作者名、キーワード、カテゴリをクリックすることで、検索を絞り込むことができます。

キーワードの重複やスペルミスを防ぐため、そして検索を向上するために、ACDSeeはマスタ キーワード一覧を使っています。また、マスタ キーワード一覧でキーワードを変更すると、そのキーワードに適用されているすべての画像が自動更新されます。

画像にキーワードを追加するには：

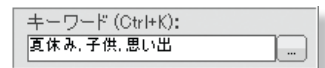
1. ブラウザでファイル一覧から画像を選択し、[表示]メニューから[プロパティ]をクリックして、[プロパティ]ペインを開きます。

ACDSeeの[プロパティ]ペインを使って、あらゆる画像またはメディアファイルのデータベース情報を追加または編集することができます。ファイル一覧から複数の画像を選択した場合、[プロパティ]ペインに追加された情報が、選択されたすべてのファイルに追加されます。

2. [プロパティ]ペインで、[キーワード]フィールドに文字または単語を入力します。入力するにつれ、そのキーワードがマスタ 一覧に追加されるのを確認することができます。

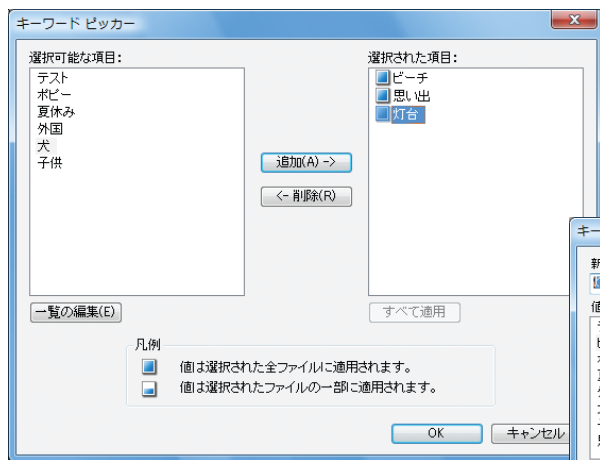
キーワードに句読点を使うことはできませんが、スペースまたはコンマでキーワード間を分けることで複数のキーワードを追加することができます。

3. 同じキーワードを別の画像に追加するには、ファイル一覧から画像を選択し、プロパティペインの[キーワード]フィールドの横にある[キーワードピッカー]ボタンをクリックします。

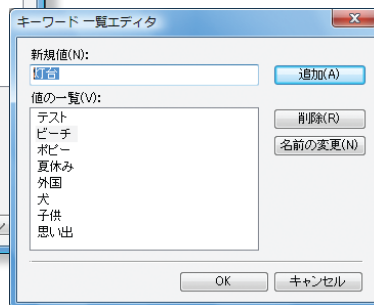


4. [キーワードピッカー] ウィンドウで、[選択可能な項目] リストから希望するキーワードを選択し、[追加] をクリックします。

そのキーワードが [選択された項目] リストに表示されます。



5. このウィンドウ内で新規キーワードを追加するには、[一覧の編集] ボタンをクリックして [キーワード一覧エディタ] ダイアログを開き、キーワードの追加や削除、名前の変更を行います。
6. [OK] を 2 回クリックしてウィンドウを閉じ、ブラウザに戻ります。



検索する

ACDSee の検索ツールを使用すれば、コレクションから特定の画像を素早く見つけたり、内容、テーマまたは別の検索条件に一致する画像グループを探したりすることができます。

ACDSee の検索ツールはすべて、データベースを使用して履歴を管理しているため、画像やメディア ファイルを素早く探すことができます。データベースにより多くの情報があるほど、探している特定の画像や、検索条件とマッチする画像グループを見つけやすくなります。

カテゴリを使ってファイルを検索する

画像にキーワードを入力し、カテゴリまたは自動カテゴリに適用する作業が完了したら、ACDSee を使ってファイルを検索することができます。画像が保存されているフォルダを 1 つ 1 つ開いて探す必要はありません。

カテゴリまたは自動カテゴリを使って検索するには：

1. [カテゴリ] ペインでカテゴリの名前をクリックします。

ACDSee はデータベースを検索し、ファイル一覧にそのカテゴリに適用されているファイルを表示します。

2. そのカテゴリの下にあるサブカテゴリに適用されている画像も検索したい場合は、[カテゴリ] ペインの上部にある [部分一致/完全一致] アイコンをクリックし、[サブカテゴリを含む] をクリックします。

[サブカテゴリを含む] オプションが既に選択されている場合は、もう一度クリックして選択を解除します。

イージーセレクトバーを使って検索する

ACDSee で最もパワフルなツールの 1 つに、イージーセレクトバーがあります。イージーセレクトバーはフォルダ名の左横にある四角の行のことで、シングルクリックで、1 つまたは複数のフォルダの含まれている画像を表示したり隠したりすることができます。[カテゴリ] ペインにもイージーセレクトバーがありますので、カテゴリ、自動カテゴリ、検索やフォルダなどの検索条件を組み合わせ、希望する画像を素早く探すことができます。ACDSee データベースに含まれている情報が多いため、イージーセレクトバーを使うと便利です。

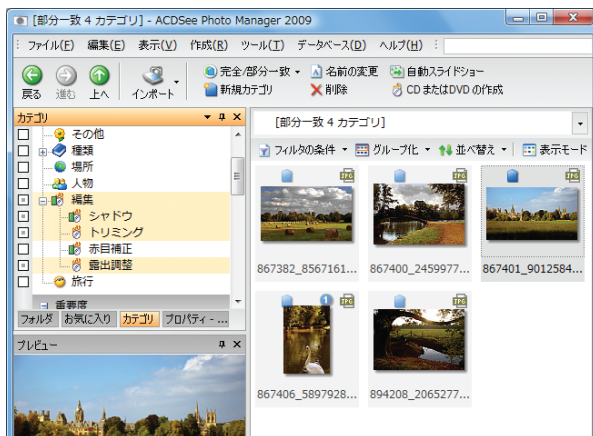
イージーセレクトバーを使って検索するには：

1. 複数のフォルダ、カテゴリまたは自動カテゴリを選択するには、名前の左横にあるチェックボックスをクリックします。

ボックスをクリックするにつれ、フォルダ、カテゴリまたは自動カテゴリのいずれかに関連付けられている画像がファイル一覧に表示されます。

2. 選択されたカテゴリのすべてに関連付けられている画像のみに絞り込みたい場合は、[完全一致/部分一致] アイコンをクリックし、[完全一致]を選択します。

これで ACDSee はデータベースを検索し、選択されたカテゴリのすべてに関連付けられている画像のみを表示します。選択されたカテゴリの 1 つにだけ関連付けられている画像は表示されません。



保存済み検索を使用する

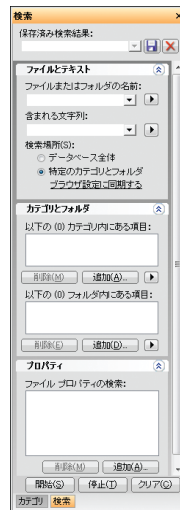
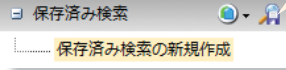
同じファイルや種類を頻繁に検索する場合、検索条件を保存して繰り返し使うことができます。これらの保存済み検索を使って、フォルダ、カテゴリ、画像のプロパティやその他の検索条件でデータベースを検索するため、ファイルやフォルダを素早く見つけることができます。

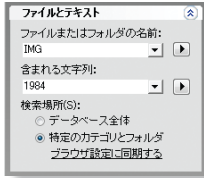
保存済み検索を新規作成するには：

1. [カテゴリ] ペインで [保存済み検索の新規作成] をクリックするか、[新規の保存済み検索] アイコンをクリックします。

[検索] ペインが開かれます。このペインは、ファイルとテキスト、カテゴリとフォルダ、プロパティの 3 つの領域から構成されています。ユーザーの検索好みによって、これらの領域に必要な情報を入力します。

2. ファイルまたはフォルダ名を元に検索したい場合、[ファイルとテキスト] 領域に詳細を入力します。
 - ファイルまたはフォルダの名前 - このフィールドに、ファイルまたはフォルダの一部またはすべての名前を入力します。例えば、カメラの中には IMG で始まる名前を画像に付けるものがあります。そのため、このカメラで撮影した画像だけを検索したい場合は、IMG という名前を含んだ画像またはフォルダを探せばよくなります。右矢印をクリックし、[画像のみ] を選択すると、画像ファイルのみに検索を絞り込むことになります。



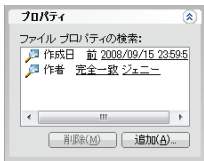


- 含まれる文字列 – このフィールドに、検索したい文字を入力します。右矢印をクリックして検索を絞り込みます。すべての文字と一致するもの、文字全体と一致するものを検索、キャプション検索、キーワード検索、注記検索、カテゴリ検索、フォルダ検索 から選択します。
- データベース全体 – このラジオボタンをクリックして、ACDSee データベース全体を検索します。このオプションを選択すると、[カテゴリとフォルダ] 領域が非表示になります。これは、特定のカテゴリまたはフォルダで検索するよりも、データベース全体の検索を選択したと解釈されるためです。
- 特定のカテゴリとフォルダ – このラジオボタンをクリックして [カテゴリとフォルダ] 領域を開き、検索する特定のカテゴリまたはフォルダを指定します。
- ブラウザ設定に同期する – ブラウザで既にフォルダを開いている場合、このリンクをクリックすると、同じフォルダが自動的に検索されます。

3. カテゴリやフォルダを元に検索したい場合は、[ファイルとテキスト] 領域にある [特定のカテゴリとフォルダ] ラジオボタンをクリックし、[カテゴリとフォルダ] 領域に詳細を入力します。

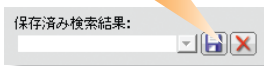


- 以下のカテゴリ内にある項目 – このフィールドを使って、特定のカテゴリで検索します。[追加] ボタンをクリックしてカテゴリを選択してから [OK] をクリックします。カテゴリを削除するには、カテゴリをクリックしてから [削除] ボタンをクリックします。サブカテゴリを含みたい場合は、右矢印ボタンをクリックし、[サブカテゴリを含む] チェックボックスを選択します。
- 以下のフォルダ内にある項目 – このフィールドを使って、特定のフォルダで検索します。[追加] ボタンをクリックしてフォルダを選択してから [OK] をクリックします。フォルダを削除するには、フォルダをクリックしてから [削除] ボタンをクリックします。右矢印ボタンをクリックして、[サブフォルダを含む] または [カタログ化された項目のみを検索する] を選択し、検索を絞り込みます。



4. ファイルのメタデータを検索したい場合、[プロパティ] 領域の [追加] をクリックします。ACDSee のデータベース情報、EXIF情報、ファイルのプロパティ、画像の属性、IPTC 情報またはマルチメディアの属性からの検索を選択することができます。検索したい情報のチェックボックスをクリックしてから [OK] をクリックします。選択されたプロパティが一覧に表示されます。プロパティの詳細を変更するには、ハイパーリンクをクリックし、検索条件を定義します。プロパティを削除するには、プロパティをクリックしてから [削除] ボタンをクリックします。

5. この検索条件を保存するには、[保存] アイコンをクリックし、[名前を付けて保存] を選択して名前を入力してから [OK] をクリックします。



保存済み検索を再度使用するには：

1. メニューバーで、[表示] メニューから [検索] をクリックし、検索ペインを開きます。
2. [保存済み検索] フィールドから、希望する保存済み検索を選択します。
3. [開始] ボタンをクリックします。

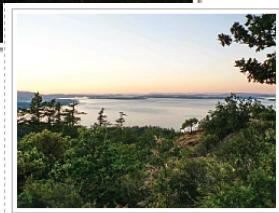
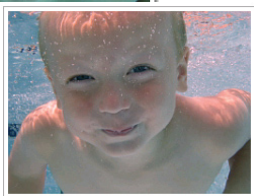
データベースを検索し、検索条件とマッチした結果がファイル一覧に表示されます。

保存済み検索はすべて [カテゴリ] ペインにも表示されますので、検索の名前をシングルクリックするだけで検索をし直すことができます。

修整と編集

ACDSee の編集ツールは、プロが編集したような仕上がりを得られながらも、大変使いやすいようにデザインされています。修整不可能と思っていた画像をタッチアップしたり、画像に枠を追加したり、画像の選択範囲に特殊効果をブレンドしたりして、アーティスティックに仕上げることができます。ACDSee は画像のオリジナルを自動的に保存するため、安心して修整を始めることができます。

補正する



ACDSee は名前の変更、回転、サイズ変更など、頻繁に使用される編集タスクを備えており、これらのタスクは同時に複数の画像に適用することができます。また、パワフルなエディタを使って、個々の画像を精確に補正することもできます。編集モードでは、赤目補正、カラーや露出の補正、テキストの追加、特殊効果の適用、電線のような不必要なオブジェクトの削除などを行うことができます。ACDSee 編集ツールの使い方はとても簡単で、シャドウ/ハイライト ツールのように画像の暗い部分を明るく、同時に明るい部分を暗くすることができるため、通常はシングルクリックで補正が完了します。

オリジナルの保存

画像を初めて保存する際（注：初回のみ）、ACDSee はオリジナルの名前を付けて、オリジナルの画像のコピーを自動的に保存しますので、いつでも復元することが可能です。例えば、オンライン コミュニティで ID のアイコンとして頻繁に使われる小さい画像であるアバターとして画像をトリミングしたのに、新しい名前を付けて保存するのを忘れてしまった場合、オリジナルのフル画像を復元することができます。このオプションは、ACDSee インストール時に既定として有効に設定されています。ハードディスクの場所を増やすためにこのオプションを無効に設定しても、後で有効に設定し直すことができます。

オリジナルを復元するには：

1. オリジナル画像も必要だけど、編集済み画像のコピーも必要だという場合、編集済み画像に新しいファイル名を付けて保存します。

画像を復元すると、保存済みのオリジナル画像は新しい画像と置き換えられ、同じ名前のオリジナル ファイルとして保存されます。例えば、オリジナルの画像のファイル名が IMG_1984.jpg だった場合、保存されたオリジナルにも同じ名前が付けられます。編集済みの画像に headshot.jpg のような新しい名前を付けて保存します。画像を復元すると、IMG_1984.jpg は保存済みのオリジナルに置き換えられます。

2. ブラウザで、復元したい画像を右クリックし、[オリジナルの復元] を選択します。
3. メッセージが表示されたら、[オリジナルの復元] ボタンをクリックします。

[オリジナルの保存] を再度有効に設定するには：

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] をクリックし、[ファイル管理] を選択します。
2. [初めて編集する際、オリジナル画像のコピーを保存する] をクリックします。



赤目を補正する

ACDSee では、他の修整ツールと同様、赤目補正ツールも改良されましたので、数回クリックするだけで赤目を補正することができます。

赤目を補正するには：

1. ファイル一覧から、編集したい画像を選択します。
2. ツールバーで、[画像の編集] メニューから [編集モード] をクリックします。

選択された画像が編集パネルに開かれ、編集ツールが左手に表示されます。

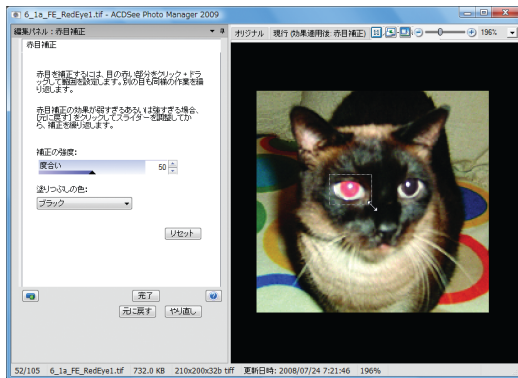
3. [編集パネル] のメインメニューから、[赤目補正] をクリックして赤目補正ツールを開きます。

画像のすぐ上、メインツールバーの下に3つのボタンとスライダがあります。拡大および縮小を素早く行うことができます。

4. [ズーム] スライダを右にドラッグして拡大し、被写体の目がウィンドウの中心になるように画像をドラッグ&クリックします。

目を拡大表示することで操作の結果を確認しやすくなるだけでなく、目のどの部分を補正する必要があるかわかりやすくなります。

5. 目全体にマーカーをドラッグします。赤目が完全に補正されなければ、強度を調整します。スライダを右にドラッグして、ドラッグする度に適用される色の量を増やします。赤い色がまぶたの上、あるいは目の虹彩をカバーしている場合、[塗りつぶしの色] ドロップダウン リストから新規またはカスタムカラーを選択します。
6. 目の赤い部分をクリックして補正することもできます。赤い領域が残っている場合は、再度クリックします。
7. 補正に満足しない場合は、[元に戻す] をクリックし、設定を調整してから再度試してください。



8. [完了] をクリックして編集パネルに戻ります。
9. [編集の完了] をクリックしてから [名前を付けて保存] を選択し、新しい名前を付けて保存します。
10. 新規ファイルの名前を入力し、[保存] をクリックしてブラウザに戻ります。

より自然に仕上げるには、赤みの強い部分を最小限にドラッグします。エッジに赤みを残すと、より自然に見えるため効果的です。

スライダを使って頻繁に縮小表示に切り替えて、補正した目が通常表示でも自然に見えるか確認します。

編集モードのスライダを使って微調整を行うには、カーソルをスライダの上に置き、マウスホイールをシングルクリックして前後に移動します。



シャドウに光を追加しすぎたり、ハイライトにシャドウを加えすぎたりすると、画像が不自然に仕上がってしまうので注意します。例えば、顔には自然な影を残しておかなければ、平面に見えてしまいます。

[露出警告を表示する] ボタンをクリックすると、露出オーバーのピクセルが赤に、露出アンダーのピクセルが緑で表示されます。

シャドウとハイライトを補正する

晴天の日に撮影すると、明るすぎる領域と暗すぎる領域のある写真が出来上がってしまうことがあります。例えば、明るい背景に、暗いシルエットだけが見えるような結果になりがちです。ほとんどの露出ツールは、画像全体を明るくまたは暗くすることに焦点を絞っているため、明るくしたくない領域や暗くしたくない領域も一緒に変更されてしまうのを我慢しなければなりません。[シャドウ/ハイライト] ツールは、ユーザーが今まで考えなかった方法で画像を修復します。

このツールは明るすぎる領域（空や海のような露出過度の領域）を暗くすると同時に、暗すぎる領域（人の顔や木の葉など）を明るくします。

画像のシャドウとハイライトを補正するには：

1. ファイラー一覧から、編集したい画像を選択します。
2. ツールバーで、[画像の編集] メニューから [編集モード] をクリックします。

選択された画像が編集パネルに開かれ、編集ツールが左手に表示されます。

3. [シャドウ/ハイライト] をクリックしてツールを開きます。



4. 設定を自動適用するには、自動設定ボタンをクリックします。ACDSee は画像を分析し、明暗のピクセル量を元に最適な設定を適用します。暗い画像は、既に明るい画像よりも明るく仕上げられます。



5. [明るくする] スライダーをドラッグし、画像の暗い領域にハイライトを追加します。
6. [暗くする] スライダーをドラッグし、画像の明るい領域にシャドウを追加します。
7. 画像の任意の領域をクリックする方法も試してみるといいでしょう。暗い領域をクリックすると、その領域のピクセルを元に、画像が明るくなります。明るい領域をクリックすると、その領域のピクセルを元に、画像が暗くなります。

8. 画像を調整中に露出オーバーまたはアンダーなピクセルがないか確認したい場合は、[露出警告を表示する] ボタンをクリックします。露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。<E> キーを押すと、露出警告のオン/オフを切り替えることができます。
9. オリジナルと編集後の画像を素早く切り替えて表示するには、キーボードの <Z> キーをホールドしてからリリースします。(<Z> キーは、編集パネルの他のツールでも同様に切り替え表示するショートカットキーです。[プレビューバー] ボタンをクリックしてプレビューバーを開き、作業しながらオリジナルと編集中の画像を比較することもできます。
10. 結果に満足できず最初からやり直したい場合は、[リセット] ボタンをクリックしてオリジナルの設定に戻します。([キャンセル] をクリックすると、編集操作が破棄され、編集パネルに戻ります。)
11. 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
12. [編集の完了] をクリックしてから [名前を付けて保存] を選択し、新しい名前を付けて保存します。
13. 新規ファイルの名前を入力し、[保存] をクリックしてブラウザに戻ります。



[シャドウ/ハイライト] ツールは、コントラストの激しい問題を補正するためにデザインされていますが、わずかに露出オーバー、または露出アンダーの写真でも使うことができます。このツールで微調整を行うことで、ほとんどの写真をより綺麗に仕上げることができます。

編集する

枠を追加する

ACDSee では、画像にカスタムフレームやエッジを追加することができます。複数のボーダーを追加して、額縁の中に飾り枠があるかのよう仕上げすることもできます。

プロのような飾り枠を追加するには：

1. ファイル一覧から、編集したい画像を選択します。
2. ツールバーで、[画像の編集] メニューから [編集モード] をクリックします。
3. [編集パネル] のメインメニュー から [枠] をクリックします。
4. 細くて白い飾り枠を追加するには、[カラー] ボックスから白を選択したまま、[サイズ] スライダーを 1 ピクセルになるまで左にドラッグし [完了] をクリックして保存します。
5. 同じ画像を [枠] パネルで再度開き、黒い飾り枠を追加します。
6. [カラー] ボックスをクリックし、[カラー] ダイアログから黒を選択し、[OK] をクリックします。
7. [サイズ] フィールドに 8 を入力し、四隅の枠の幅を 8 ピクセルに変更します。
8. 画像の下部にある飾り枠のサイズを増やすには、[サイズ] フィールドの右横にある小さな矢印をクリックし、[下] フィールドに 70 を入力するか、スライドをその場所までドラッグします。





画像に見られる色から1色を選択すると、見栄えのいい飾り枠を素早く簡単に作ることができます。

これで画像と枠がマッチしているように見えるためです。



カーソルを写真上に移動すると、カラーピッカーが表示されます。画像の任意の場所をクリックすると、その色が選択されます。



9. [完了] をクリックして新しい枠を追加します。
10. [枠] でもう一度開いて、白の周りに1ピクセルの枠を追加し、[完了] をクリックします。
11. [テキスト] ツールを使って著作権情報やサインを入力します。

不規則なエッジ、ドロップシャドウ、浮き出し効果を追加するには：

1. [枠] パネルの [エッジ] セクションで、[不規則] ボタンをクリックし、右矢印を使ってライブラリを開くか、下矢印を使ってスクロールします。
2. ドロップシャドウを追加するには、[ドロップシャドウ] チェックボックスをクリックし、ボールの光っている部分をドラッグして、光のあたる方向を変更します。

ドロップシャドウは画像と枠の間に表示されるため、ドロップシャドウを使ってグラデーション効果を作ることができます。光のあたる方向を中心に変更し、[ぼかし] と [不透明度] を設定します。[浮き出し] は 3D 効果を作るため、金属枠に囲まれているように見せることができます。

選択範囲を使って、画像の補正やアーティスティック効果を作成する

ACDSee には、様々な種類の特殊効果フィルタが備わっており、[選択範囲] を使って画像の特定領域を補正したり、画像をアート作品に仕上げたりすることができます。[選択範囲] を使って画像の特定部分を分離し、その領域だけに補正や効果を適用することができます。選択範囲を反転させ、最初に選択した範囲外を変更することも可能です。[選択範囲] を使って、画像の特定領域のみ補正することもできます。

選択範囲を作成するには：

1. ファイル一覧から、編集したい画像を選択します。
2. ツールバーで、[画像の編集] メニューから [編集モード] をクリックします。

3. [編集パネル]のメインメニューから[選択範囲]をクリックします。

[選択範囲] ツールが開かれます。選択ツールは次の3つです；自由選択 (画像上をマウスで描きながら選択します)、自動選択 (色を指定してそのピクセルが含まれている領域を選択します)、マーカーキー (長方形または楕円をドラッグして領域を選択します)



4. [自由選択] をクリックして自由選択ツールを選択します。

マウスを画像の上に置くと、カーソルがなげなわの形に変わります。



5. マウスを左クリックし、選択したい範囲の周りを描きます。後で調整することができますので、正確に線を描く必要はありません。マウスから手を離すと、開始点と終了点が自動的に結ばれ、選択範囲が有りの行進のような線で表示されます。

<Shift> または <Ctrl> キーを使って領域を追加したり一部を削除したりして、選択範囲を設定し直します。

6. 選択範囲を追加するには、<Shift> キーを押しながら既存の線と重なるように新しい領域を描きます。マウスを放すと、新しい領域が選択範囲に追加されます。同じ方法で、全く新しい領域を追加することもできます。
7. 選択範囲から一部を削除するには、<Ctrl> キーを押しながら削除したい領域を描きます。マウスを放すと、新しい領域が選択範囲から削除されます。

<Ctrl> キー機能を使って、選択範囲を設定し直します。大まかな選択をした後、<Ctrl> キーを使って不必要な領域を細かく削除し、選択範囲が最終の範囲に近くなるよう設定します。(マウスを使って線を描くには、大きい範囲よりも小さい範囲を描くほうが簡単です。)



8. 選択範囲そのものを変更するよりも、その背景を変更したいというケースがほとんどですので、[反転]をクリックします。これでオリジナルの選択範囲を除いた、画像のその他の領域が選択されます。



9. 選択範囲に満足したら、[完了] をクリックします。

[選択範囲] パネルが閉じられ、メインメニューに戻ります。これで、選択範囲に[編集] モードの数多くのツールを使う準備が整いました。露出、カラー、シャープネス、ノイズ、特殊効果などのツールを利用することができます。



[フェザリング] ツールを使って、選択範囲のエッジと背景をぼかすことができます。この方法では、選択範囲を作成するために、細かく正確に設定する必要がなくなります。フェザリングは、選択された領域と画像のその他の領域をソフトにブレンドします。



[編集] モードで画像を編集している間、実際にはオリジナルと編集済みの2つの画像を作業していることとなります。「ブレンドモード」と「不透明度」は、この両方の画像をコントロールし、2つを混ぜ合わせて新しい画像を作成します。

選択範囲に特殊効果を適用するには：

1. 選択範囲の設定が完了したら、[特殊効果] をクリックします。
[特殊効果] パネルが開かれます。
2. アイコンをダブルクリックして、その効果を適用します。

[セピア] や [ネガティブ] など、特殊効果の種類によっては、選択後すぐにその効果が適用されます。それ以外の調整オプションが備わっている特殊効果をクリックすると、別のウィンドウが開かれます。

特殊効果がウィンドウで開かれると、そのカテゴリに属する別の効果が、パネルの上にタブとして表示されます。ウィンドウを閉じることなくいくつかの効果を試すことができるので便利です。カテゴリ別に表示したい場合は、特殊効果 パネルにある [カテゴリの選択] ドロップダウン リストをクリックします。



3. 選択範囲を示すありの行進のような線を隠すことができます。これで干渉なしに画像の効果を確認することができます。[選択範囲の表示] アイコンをクリックして、選択範囲を非表示にします。アイコンをもう一度クリックすると、選択範囲が表示されます。

4. 選択範囲とそれ以外の領域のエッジをソフトにするには、[フェザリング] スライダーを右にドラッグします。



5. 画像全体に効果を適用した場合にどのように見えるかを確認するには、[選択範囲の使用] ボタンをクリックします。
6. 適用される特殊効果の量は、[不透明度] スライダーを左右にドラッグして調整することができます。

実際には、編集された画像の透明度を増やして、オリジナル画像をより強く表示することになります。

ブレンドモードを使って、よりクリエイティブな効果を生み出すことも可能です。[不透明度] スライダーの左に、[ブレンドモード] ドロップダウン リストがあります。各ブレンドモードは、オリジナルと編集済み画像を特有の方法で統合します。(ブレンドモードに関する詳細につきましては、ヘルプファイルをご覧ください。)

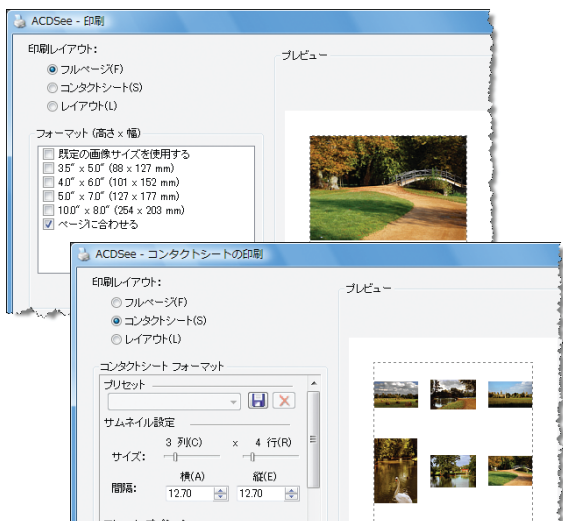
7. 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
8. [編集の完了] をクリックしてから [名前を付けて保存] を選択し、新しい名前を付けて保存します。
9. 新規ファイルの名前を入力し、[保存] をクリックしてブラウザに戻ります。



印刷と共有

ACDSeeには、友だちや家族と画像を共有するための様々なツールが搭載されています。画像をウェブサイトで公開したい、フルサイズの写真を印刷したい、あるいはスライドショーをテレビで閲覧したいなど、ACDSeeはユーザーのニーズに合わせて役立ちます。

印刷



ACDSee の印刷ツールには詳細オプションが備わっていますので、フルサイズで印刷したり、画像コレクションのサムネイルでコンタクトシートを作成し目次として使ったりすることができます。各ページまたは各画像に説明テキストを追加しながら、設定オプションの横に位置するプレビュー ウィンドウで確認することもできます。

[レイアウト] オプションは、用紙サイズに最も適したレイアウトを選択することができますが、[フルページ] または [コンタクトシート] オプションのいずれを使っても、印刷設定を細かく変更することが可能です。

ご利用になっているプリンタがサポートするすべての解像度で、あらゆる用紙サイズおよび方向で印刷することができます。標準の印刷サイズと画像がマッチしない場合は、カスタムのサイズフォーマットを作成し、次回以降そのフォーマットを使用することができます。かなりの数のコンタクトシートを印刷し、複雑な設定を行った場合も、プリセットとして保存し、次回以降その設定を使用することができます。

ACDSee で画像を印刷する

[印刷] ウィンドウのすべての設定を使って、レイアウト、方向、位置、あらゆる用紙サイズの上で正確な場所に画像をグループ化するなどを細かく設定することができます。[プレビュー] は [印刷] ウィンドウの右手に位置しており、設定を変更するにつれ、その結果を瞬時に確認することができます。

標準のフレームサイズに合わせてフルページの画像を印刷するには：

1. ファイル一覧から、印刷したい画像または写真を選択します。[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。(ショートカットキーは <Ctrl> + <P>)

[印刷] ウィンドウが開かれます。[プレビュー] 領域に、標準ページでの画像のサイズと位置が表示されます。

2. ウィンドウの左上部に、印刷レイアウト用の 3 つのオプションがあります。
[フルページ] オプションをクリックします。

[プレビュー] の左手にある [フォーマット] 領域から [ページに合わせる] オプションをクリックします。

3. 10.0" x 8.0" のフレームに合うように、[フォーマット] 領域から [10.0" x 8.0"] チェックボックスをクリックします。

[プレビュー] ペインに、現在選択されているプリンタの用紙サイズが点線で表示されます。余白外に出てしまう画像領域が赤で表示されますので、必要に応じて調整します。

4. 用紙の中央に画像を配置するには、スクリーン右上にある [ページ設定] タブをクリックし、[ページの位置] ドロップダウン リストから [中央] を選択します。

5. 用紙の余白を減らしてページ全体に画像を含むには、余白領域の [上]、[下]、[左]、[右] フィールドの各値を例えば 5 のように減らします。
6. [詳細オプション] 領域にある [印刷フォーマットに合わせて画像を自動回転する] チェックボックスを選択します。
印刷ツールは、8.5" x 11" の用紙に合わせて画像を回転します。
7. [印刷] をクリックして印刷し、ACDSee に戻ります。

コンタクトシートやカタログページを印刷する

膨大な数の画像や写真を持っている場合、どこに何があるのかを把握するのは簡単ではありません。内容を把握する方法の1つに、サムネイルのコンタクトシートを作成し、画像カタログ (目次) として活用する方法があります。これで、コレクション全体に目を通して、探している画像をすぐに見つけることができます。

ACDSee は各サムネイルに画像のファイル名、キャプション、キーワードなど、画像固有のテキストを自動的に付ける機能も備えていますので、より簡単に画像を整理、把握することができます。また、コンピュータ、CD/DVD またはリムーバブルディスクなど、画像の格納場所などの情報を、印刷ページのヘッダーまたはフッターに追加することができます。

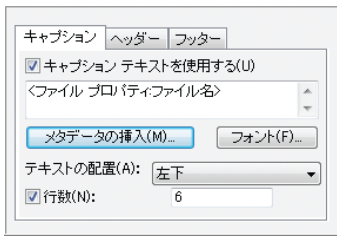
コンタクトシートやコレクションのカタログを印刷するには：

1. ファイル一覧から、印刷したい画像をすべて選択します。[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。(ショートカットキーは <Ctrl> + <P>)
[印刷] ウィンドウが開かれます。[プレビュー] 領域に、画像のサイズと位置が表示されます。
2. ウィンドウの左上にある [コンタクトシート] オプションをクリックします。
画像が小さいサムネイルとしてグリッド内に表示されます。
3. 余白を減らしてページに入れる画像数を増やすには、ウィンドウの右上部にある [ページ設定] タブをクリックします。[上]、[下]、[左]、[右] の各値を 0.25 に変更します。
4. 画像のサイズ変更を最も素早く変更する方法は、[プレビュー] の左にある [コンタクトシート フォーマット] ボックスの [列] と [行] のスライダーを使って調整する方法です。(画像間の間隔を調整したり、各画像にフレームを付けたり、ドロップシャドウやフェードなどを追加したりすることも可能です。)
5. 設定に満足したら、オプションの上部にある [プリセット] フィールドの横にある [保存] アイコンをクリックし、設定の名前を入力して [OK] をクリックします。これで、次回似たような印刷をする場合に、設定をし直す必要がなくなります。
6. 各画像の下にファイル名 (またはその他の情報) を自動的に印刷するには、[印刷] ウィンドウの左下部にある [キャプション] タブをクリックし、[キャプション テキストを使用する] チェックボックスを選択します。
7. テキストボックスのすぐ下にある [メタデータの挿入] ボタンをクリックします。



ACDSee のデータベース情報を加えることができるパワフルな印刷機能と、ブラウザのイージーセレクトバー機能を連結して、複数フォルダやコレクション全体、または特定のカメラを使って撮影された画像や複数のフォルダ間にある特定作者によって作成された画像など、特別な組み合わせで印刷することができます。他のコレクションとして、特定グループのデザイナーによって作成された下書きなどを印刷することもできます。

いずれの場合も、場所、ファイル名、サイズやその他のデータを画像と一緒に印刷することができるため大変便利です。

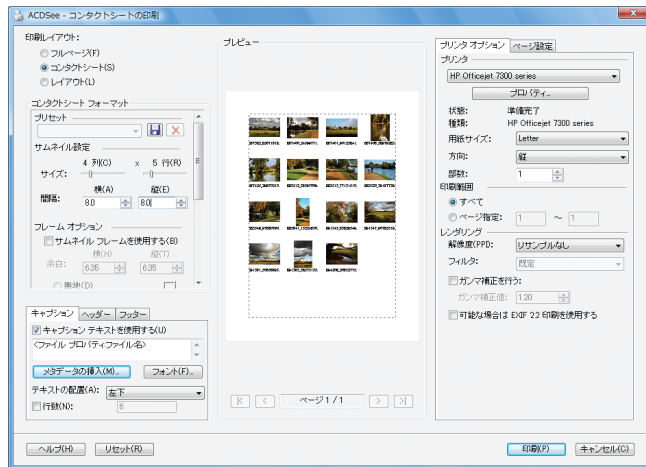


- [プロパティの選択] ウィンドウで、[ファイル プロパティ] をダブルクリックし、[ファイル名] チェックボックスを選択します。[OK] をクリックすると、<ファイル プロパティ: ファイル名> がテキストボックスに表示されます。

印刷する際、各画像のファイル名がプレースホルダと入れ替えられます。

[プレビュー] の各画像の下に、ファイル名が表示されるようになったのを確認します。ファイル名がすべて表示されるように、行と列のサイズを調整します。

- ページ全体に情報を挿入するには、[ヘッダー] タブをクリックし、[ヘッダー テキストを使用する] チェックボックスを選択します。
- [テキストの配置] フィールドで [左] を選択し、[フォント] ボタンをクリックして MSP ゴシック、サイズ18 を選択します。
- テキストボックスに、ファイルの場所を入力します。例えば、コンピュータのフォルダへのパスや、CD/DVD またはリムーバブル ドライブの名前を入力します。
- <Enter> キーを押して、テキストと画像の最初の行の間にスペースを挿入します。
- 設定に満足したら、[印刷] をクリックします。



共有する

ACDSee の共有ツールを使えば、デジタル写真や画像ファイルを誰とでも共有することができます。HTML アルバム作ってパーソナル ウェブサイトに掲載したり、ACDSee の無料画像共有サービスである SendPix アルバムに画像をオンラインで掲載したり、スライドショーを作成して家族や友達と見たりすることができます。

スライドショーを起動する

ACDSee の人気機能として、特定フォルダの画像すべてをスライドショーとして作成する機能があります。

フォルダ内のすべての画像を使ってスライドショーを作成するには：

1. ビューアで、[表示] メニューから [自動スライドショー] をクリックします。
2. [ベーシック] タブから、トランジション、バリエーション、効果を選択して、スライドショーをカスタマイズします。
 - スライドショーに使用するトランジションの横にあるチェックボックスをクリックします。

複数のトランジションを選択することができます。スライドショーで次の画像が表示される際、選択されたトランジションがランダムに使用されます。

- [バリエーション] ドロップダウンメニューからバリエーションを選択します。パン&ズーム、カラージュ、2画像、4画像のいずれかを選択します。
- [効果] ドロップダウンメニューからモノクロ、セピア、ヴィヴィッド、ソフトのいずれかを選択します。

[プレビュー] 領域にスライドショーのプレビューが表示されますので、選択したトランジション、バリエーション、効果などを確認します。

3. [スライドの表示間隔] フィールドに、各画像の表示時間を秒単位で入力します。
4. スライドショー起動中にオーディオ ファイルを再生するには、[アドバンス] タブをクリックし、[参照] ボタンをクリックしてオーディオ ファイルを選択します。
5. [アドバンス] タブでは、スクリーンに合わせて画像またはビデオを表示するか、スライドの順序、画像にオーディオ クリップが埋め込まれている場合に再生するか、などの設定も可能です。

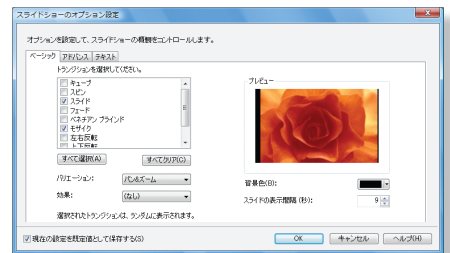
既定として、ACDSee はコントロールバーを自動的に隠し、スライドショーにループをかけるように設定されていますが、これらのオプションをオフにすることができます。

6. スライドショーにテキストを追加するには、[テキスト] タブをクリックし、[ヘッダー テキストの表示]、[フッター テキストの表示]、あるいは両方のチェックボックスを選択します。

ヘッダーはスクリーンの上部に、フッターはスクリーンの下部に表示されます。



トランジション：
スライドショーで、画像から次の画像へ移動する際に使われる特殊効果のことです。



ご利用になっているコンピュータのグラフィックカードが Direct X 9.0 をサポートしていない場合、バリエーションや一部のトランジションなど、ご利用いただけない機能がありますので、予めご了承ください。

7. [配置] ドロップダウン リストから、[中央] を選択し、スライドショーの画像を説明する単語や文章を入力します。
これでスライドショーのすべての画像に、中央揃えのテキストが表示されることになります。
8. [OK] をクリックしてスライドショーを起動します。
スライドショー起動中は、コントロールが表示されます。スライドを切り替えたり、一時停止、終了してビューアに戻ったりすることができます。



保存と取得

ACDSee を使えば、CD や DVD にファイルをバックアップしたり、ハイクオリティのライドショーをCD に焼いて家族や友だちにプレゼントすることが簡単にできます。フォトディスク機能は、CD や DVD をコンピュータに挿入したり、リムーバブルディスクに保存されているファイルに接続することなく画像参照することができるため、画像を失う心配がありません。

保存する

ACDSee は XMP を使って各ファイルに情報を埋め込みます。

GIF、JPG、DNG、PNG、TIF を含む一部のファイルフォーマットのみが XMP を使用することができます。これらのフォーマットで作業している場合は、移動したり、ファイルの名前を変更したり、データベース情報を取得したりすることができます。

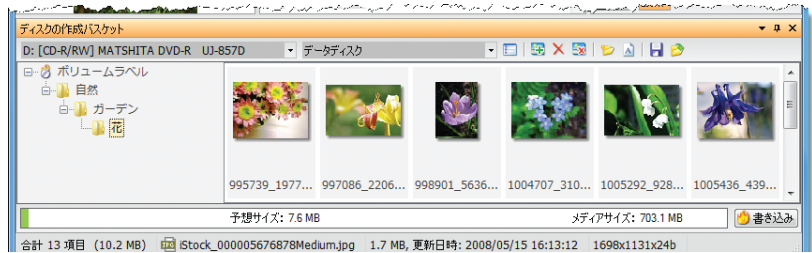
RAW、PSD、PDF などその他のフォーマットで作業している場合、データは小さいサイドカーファイルに埋め込まれます。残念ながら、サイドカーファイルはそれと関連付けられているファイルと離れてしまうことがあります。これらのその他のフォーマットは、データを失わないように、ACDSee 以外で移動したり名前を変更したりしないようにします。

ファイルに関する情報を ACDSee データベースに追加し、アプリケーションを閉じると、ACDSee はファイルそのものの中に情報を埋め込みます。このオプションで [はい] を選択すると、各ファイル内に情報が保存されるため、ファイルの検索やデータの取得が簡単になります。

CD や DVD に写真、画像、メディア ファイルをバックアップしたい場合、ACDSee に内蔵されている [ディスクの作成バスケット] を使えば、アプリケーションを離れることなくディスクを作成することができます。ACDSee はファイルそのものだけでなく、ファイルに付随しているデータベース情報もすべて一緒に書き込みます。

さらに、ACDSee のフォトディスク機能は、コンピュータや CD/DVD ドライブにディスクが挿入されていなくても、ファイルのサムネイルを表示することができます。

それらのファイルをカタログ化したり、プレビュー ペインで表示したりするのも問題ありません。



CD や DVD に画像とその情報を書き込む

ディスクの作成バスケットを使って、ディスクに書き込むフォルダ構成を作成したり、自動スライドショーを含んだりすることができます。さらに、フォトディスクを同時に作成するか選択できます。選択すると、ディスクがドライブに挿入されていなくても ACDSee でその CD の内容を参照することができます。

CD に画像を書き込むには：

1. ディスクの作成バスケットを開きます。ブラウザで、[作成] メニューをクリックし、[CD または DVD の作成] (または [表示] メニューから [ディスクの作成バスケット]) をクリックします。
2. ディスクの作成バスケットにファイルを追加するには、フォルダ ペインまたはファイル一覧から、ファイルまたはフォルダを直接ディスクの作成バスケットにドラッグします。

ディスクの作成バスケットの左手に、フォルダが自動的に追加されたのが確認できます。ディスクの作成バスケット ツールバーにある [新規フォルダ] ボタンをクリックして、ディスク用に新規フォルダを作成することもできます。

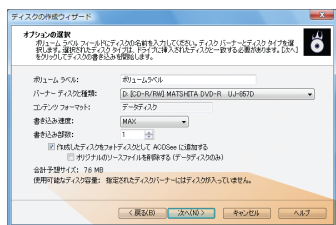
3. ディスクに含まれる画像のすべてのデータベース情報を含むには、ディスクの作成バスケット ツールバーにある [フォーマット オプション] ボタンをクリックします。
4. 準備が完了したら、[書き込み] ボタンをクリックしてディスクを書き込みます。
5. ディスクの作成ウィザードの [オプションの選択] ページにある [ポリリウム ラベル] フィールドに、ディスクの名前を入力します。ディスクの書き込み完了後、その名前をディスクに書きます。将来ファイルを取得しな

ディスクの作成バスケットは、ブラウザの上に位置を変更したり、スクリーン上の任意の場所にフロートしたりすることができますが、他のペインの上に重ねたり、ブラウザの横にドックすることはできません。

ディスクの作成バスケット内で名前を変更したり、削除したりしても、ハードドライブに保存されているオリジナルに、それらの変更が反映されることはありません。

ればならない際、ディスクを識別しやすくなります。

6. [作成したディスクをフォトディスクとして ACDSee に追加する] チェックボックスをクリックします。これで、フォルダ ペインの下にある オフライン メディアにフォトディスクが作成されます。フォトディスクはサムネイルの仮想フォルダのように見えますが、参照、カタログ化、検索できるという点でも似ています。



作成したディスクをフォトディスクとして ACDSee に追加する

7. 準備が完了したら [次へ] をクリックし、ドライブが開かれたら空白のディスクを挿入します。
8. [OK] をクリックします。[完了] をクリックしてディスクの書き込みを完了し、ドライブからディスクが排出されるのを待ちます。
9. 書き込み済みのディスクを再挿入するようメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。
10. ダイアログが登場したら、フォトディスクの名前を入力します。この名前が、フォルダ ペインのオフライン メディアの下に表示されるようになります。シリアル番号にも注意してください。準備が完了したら [OK] をクリックします。

実際のディスクに、入力した同じ名前とシリアル番号を書くのを忘れないようにしてください。

ACDSee データベースをバックアップする

ACDSee データベースに情報を追加すればするほど、データベースを定期的にバックアップし、管理することが重要になります。ACDSee にはバックアップアラームが含まれていますので、バックアップの時期になればメッセージを表示するように設定することができます。

バックアップを一度作成したら、ACDSee データベース バックアップ ウィザードを使って、最後のバックアップ時に降に追加された新しい情報のみを追加することができます。この方法では、バックアップ自体の作業時間がかからないため、作業時間を短縮することになります。また、バックアップ ファイルを保存するために必要なディスクの領域を減らすことにもなります。

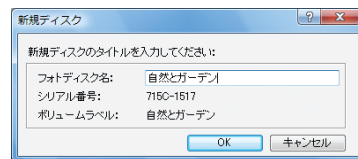
バックアップのスケジュールを作成するには：

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] をクリックして、ACDSee オプション ウィンドウを開きます。ウィンドウが登場したら、リストから [データベース] をクリックし、データベース オプションのページを開きます。



フォトディスク：
コンピュータに挿入されていない CD や DVD に保存されているファイルのサムネイルを含んだ仮想フォルダを作成することができる ACDSee の機能です。

コンピュータのドライブにディスクが挿入されていなくても、サムネイルを参照することができます。そのため、カタログ化、重要度やデータベース情報の追加などの作業を継続することができ、フォトディスクからコンピュータにコピーし直すと、これらの情報とファイルを結びつけることができます。



2. [バックアップ アラームの表示] チェックボックスが選択されているかを確認し、バックアップ リマインダの間隔を選択します。既定設定として、アラームの表示は隔月に設定されていますが、膨大な画像コレクションや複雑なデータベースを扱っている場合には、毎週から毎月の間に設定するようお勧めします。
3. [OK] をクリックしてアラームの表示を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

データベースをバックアップするには：

1. ブラウザで、[データベース] メニューから [データベースのバックアップ] をクリックし、ACDSee データベース バックアップ ウィザードを開きます。
2. [ようこそ] ページで、[新規バックアップを作成する] が選択されていることを確認してから [次へ] をクリックします。
3. [新規バックアップ] ページで、[オフライン ファイルにサムネイルを含む] を選択します。

フォトディスク用にサムネイルをバックアップすることで、システムがクラッシュしても、データベースと各フォトディスクを追加する必要がなくなります。このオプションは、[サムネイルを含まない] よりもわずかに多くの容量を必要としますが、[サムネイルを含む] ほど容量を必要としません。

4. [バックアップするファイルの種類] チェックボックスを選択し、[画像] が選択されているか確認します。
このオプションは、画像のすべてと、データベースに含まれる情報のすべてをバックアップします。バックアップ ファイルのサイズがかなり大きくなってしまいますが、ハードドライブ エラーが発生した場合など、画像のコピーを保存することになります。
5. [ソースファイルの場所] の下から、バックアップに含むファイルを選択します。
6. [次へ] をクリックして [バックアップの保存先] ページを開きます。ここで、ACDSee のバックアップ先であるハードディスクドライブの場所を確認します。参照しやすい場所を探すか、バックアップ用に新規フォルダを作成します。
7. [次へ] をもう一度クリックして、[バックアップの概要] ページを開きます。
8. 選択オプションを確認したら [次へ] をクリックし、データベースとファイルのバックアップを開始します。
9. データベース バックアップ ウィザードが完了したら、[完了] をクリックして ACDSee に戻ります。

ハードドライブの破損など万が一に備えて、バックアップファイルを CD または DVD に作成することをお勧めします。

取得する

ACDSee では、保存されている情報の取得作業をとっても簡単に行うことができます。画像ファイルを含んだバックアップ CD、DVD あるいはリムーバブルドライブがある場合は、ACDSee でフォトディスクを作成し、それらの画像を参照す



データベースのバックアップ、バックアップ作成のヒントに関する詳細につきましては、[データベース バックアップ ウィザード] の [ヘルプ] ボタンをクリックし、ヘルプファイルの [データベース情報をバックアップする] のトピックをご覧ください。ヘルプファイルのページの下までスクロールダウンし、[データベース情報のバックアップのワンポイント] リンクをクリックしてください。



フォトディスクとして ACDSee に追加されたディスクから画像を追加または削除する場合、データベースに保存されている情報を更新することができます。CD-ROM ドライブにディスクを挿入し、フォルダ ペインでディスク名を右クリックして [フォトディスクの更新] を選択します。

ことができます。実際のファイルが異なる場所に分かれて保存されていても、大規模な画像コレクションの管理が簡単になります。

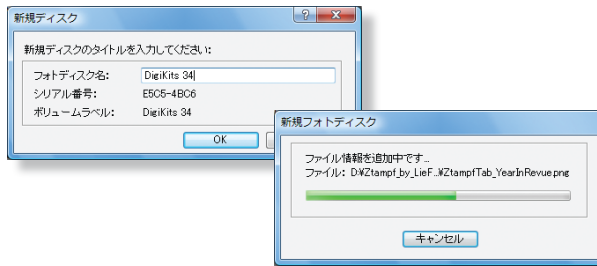
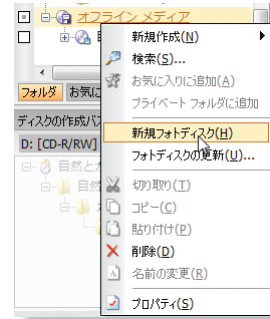
ディスクまたはリムーバブルドライブ用にフォトディスクを作成するには：

1. 画像を含んでいるディスクをドライブに挿入します。(デバイス検出 ウィンドウが表示されたら、[キャンセル] をクリックします。)
2. ACDSee のフォルダ ペインで、オフライン メディア フォルダが表示されるまで下にスクロールします。
3. オフライン メディア フォルダを右クリックし、ファイル メニューから [新規フォトディスク] を選択します。
4. ACSee フォトディスク ウィンドウが開かれたら、[OK] をクリックします。

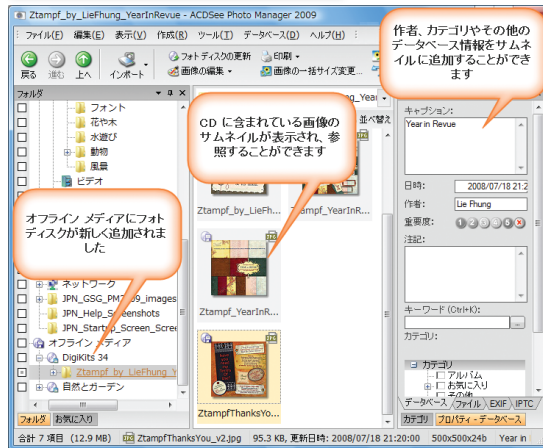
マルチセッション ディスク (再書き込み可能なディスク) を扱っている場合、再書き込みをする度にシリアル番号が変更されますので、ディスクとフォトディスクのリンクが失われてしまいます。マルチセッション ディスクを使う場合、ACDSee フォトディスク ウィンドウの [オプション] をクリックし、フォトディスクの ID を [ディスクのボリューム ラベルを使用する] に変更します。

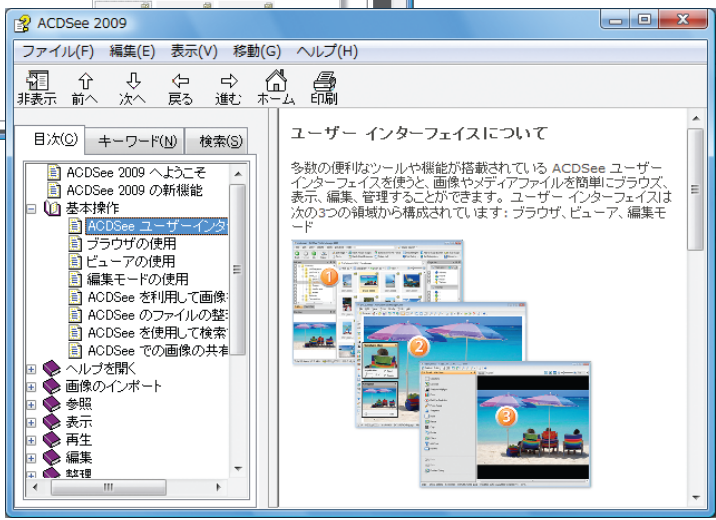
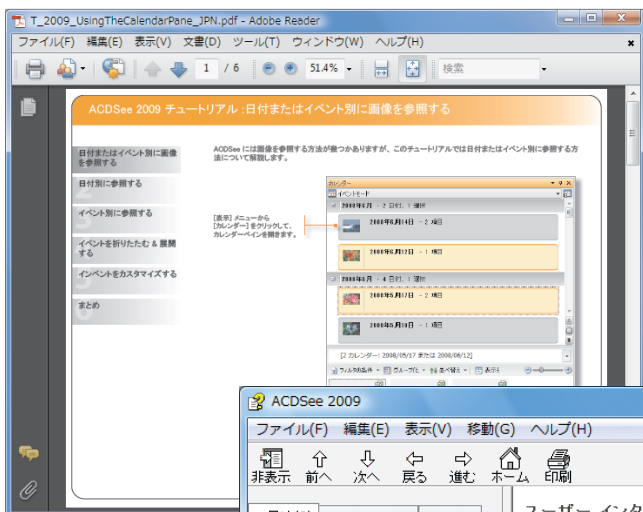
これでボリュームの名前が変更されないため、リンクが失われません。

5. 新規フォトディスク ウィンドウで、ディスクの名前を入力します。実際のディスクにも同じ名前を書くのを忘れないようにしてください。ディスク名と合わせてシリアル番号も書くようにお勧めします。[OK] をクリックします。



これで、オフライン メディアの下を見ると、ディスクと同じ名前のフォルダとその中にフォルダとサムネイルを見つけることができるようになります。これらのサムネイルにデータベース情報を追加し続け、後でディスクを更新することができます。





次にすることは？

ACDSee 2009 には、このシンプルなガイドで網羅しきれないほど、便利な機能やツールが数多く搭載されています。プログラムが画像やその他のファイルをどのように管理するか、大雑把ながらも、ご理解いただければ幸いです。

ACDSee の残りの機能、そしてガイドで触れなかったその他の機能をどうぞお試しください。使用方法がわからなく困った、あるいは特定のツールや機能に関する詳細が必要な場合は、次のいずれかのオプションを選んでください：

ヘルプ ファイルを開く

ACDSee 2009 のヘルプファイルは、ACDSee に搭載されている数多くの機能のすべてを説明また手順を追って解説しています。ショートカットキーの一覧、ブラウザ ペインの詳細説明、およびインポート、整理、修正、そして増え続ける画像コレクションの管理方法に関する詳細説明も見つけることができます。ACDSee を使用中にいつでも <F1> キーを押すと、ヘルプファイルが開かれます。

製品サポートとリソース

インターネットと接続している場合は、[ヘルプ] メニューから [製品サポートとリソース] をクリックして、最新情報を見ることができます。このガイドの PDF ファイル、チュートリアル (PDF)、ソフトウェアのアップデートなどがご利用いただけます。

コミュニティ

ACDSee フォーラムは、写真家、デザイナー、スクラップブッカーが意見やアイデアを交換する場所です。ACDSee をうまく活用するためのヒントを紹介したり、他の上級ユーザーへ質問したりすることができます。ACDSee フォーラムには、[ヘルプ] メニューから [ACDSee コミュニティ] をクリックしてアクセスします。

ウェブサイト

ACDSee のウェブサイト <http://ja.acdsee.com> では、ACDSee の最新情報やお得なキャンペーン情報、サポート情報などを提供しています。